

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和 6 年 03 月 29 日

サンリオ健康保険組合

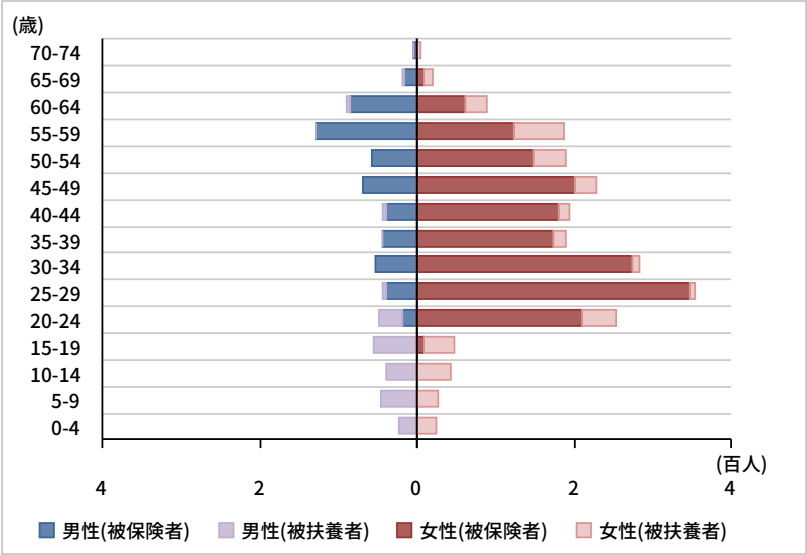
STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	28166		
組合名称	サンリオ健康保険組合		
形態	単一		
業種	卸売業		
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	2,247名 男性24.3% (平均年齢48.12歳) * 女性75.7% (平均年齢37.79歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険 者数	0名	-名	-名
加入者数	2,673名	-名	-名
適用事業所数	6カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点 数	6カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	92‰	-‰	-‰

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	2	-	-	-	-
	保健師等	1	0	-	-	-	-
		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)					
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)	全体	1,146 / 1,263 = 90.7 %					
	被保険者	1,018 / 1,032 = 98.6 %					
	被扶養者	128 / 231 = 55.4 %					
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)	全体	68 / 180 = 37.8 %					
	被保険者	66 / 171 = 38.6 %					
	被扶養者	2 / 9 = 22.2 %					

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	1,220	543	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	2,770	1,233	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	160	71	-	-	-	-
	疾病予防費	61,480	27,361	-	-	-	-
	体育奨励費	1,100	490	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	0	0	-	-	-	-
	小計 …a	66,730	29,697	0	-	0	-
	経常支出合計 …b	1,037,462	461,710	-	-	-	-
	a/b×100 (%)	6.43		-		-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	1人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	19人	25～29	40人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	53人	35～39	44人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	39人	45～49	69人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	58人	55～59	127人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	85人	65～69	15人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	4人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	8人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	210人	25～29	347人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	275人	35～39	173人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	180人	45～49	200人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	148人	55～59	123人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	62人	65～69	10人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	24人	5～9	45人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	39人	15～19	54人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	30人	25～29	5人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	0人	35～39	1人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	4人	45～49	0人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	0人	55～59	1人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	5人	65～69	2人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	1人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	24人	5～9	28人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	44人	15～19	38人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	44人	25～29	6人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	9人	35～39	16人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	14人	45～49	28人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	42人	55～59	64人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	27人	65～69	11人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	5人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

- 全適用事業所のうち、70%が母体企業に所属している
- 母体企業については、店舗勤務の被保険者が全国に在籍しており、情報提供や介入が困難である
- 被保険者は、男性24.3%（平均年齢48.1歳）、女性75.7%（平均年齢37.7歳）と、女性の構成比が非常に高く、平均年齢も差がある。
- 特に20歳の男性加入者は少ない
- 女性は20代、30代が多い

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴	
1．特定健診、特定保健指導の実施率がなかなか上がらない	
2．コラボヘルスに向けた取り組みが不十分	
3．生活習慣病健診と歯科検診は受診者が固定化している傾向	
4．女性の割合が多いのに対し、受診率は低い。	

事業の一覧

職場環境の整備	
予算措置なし	母体企業との連携強化
予算措置なし	コラボヘルス推進のための定例会開催
予算措置なし	健康管理事業推進委員会
加入者への意識づけ	
その他	ポータルサイトMyけんぽの活用
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	出産者への育児冊子
疾病予防	健康診査（人間ドック）
疾病予防	健康診査（生活習慣病健診）
疾病予防	婦人科健診
疾病予防	歯科健診
疾病予防	前期高齢者への訪問指導
疾病予防	予防接種補助事業の構築
疾病予防	健康に関するコラム配信
体育奨励	スポーツクラブ利用補助
予算措置なし	特定健康診査（被保険者）
予算措置なし	健康診査（定期健康診断）
予算措置なし	糖尿病性腎症等の重症化予防対策
予算措置なし	後発医薬品の使用促進、差額通知
予算措置なし	自治体のがん検診受診勧奨
予算措置なし	健保メルマガ配信
予算措置なし	こころとからだの健康相談
予算措置なし	卒煙チャレンジサポート
事業主の取組	
1	定期健康診断
2	健康診断事後措置に伴う個別指導
3	雇用時の健康教育
4	健康経営への取り組み

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
予算措置なし	1	母体企業との連携強化	安全衛生委員会メンバーと事業主が持つ健康課題を共有し、健保の立場でできる健康対策への協力・参加を促す。	母体企業	男女	18～74	加入者全員	0	月1回安全衛生委員会に出席。会議の内容を健保内で共有。	会議に出席することで、事業主の動きをつかむことができる。	加入者に、「健保」と「事業主」が同一のものととらえられてしまうことがあり、立場が難しい。	5
	1	コラボヘルス推進のための定例会開催	事業主と協働することにより、健保と事業主と従業員（組合員）が一体となって健康維持・生活習慣病予防に取り組む風土を醸成する。	母体企業	男女	18～74	加入者全員	0	実施時期：母体企業との定例会を開催する。（5、8、11、12月） 実施内容： ・健康経営優良法人2022認定の報告・今期の取り組み ・健康スコアリングレポートの共有 ・2021年度健診結果分析共有 ・具体的なToDoのスケジュールへの落とし込み	具体的な課題を共有することで、双方の役割を認識し、アクションへの推進力に繋がった。 健康経営優良法人連続取得、インフルエンザ補助事業に向けた検討。	さらなる協力関係の強化が必要。	5
	1	健康管理事業推進委員会	健保と事業主と従業員（組合員）が一体となって健康維持・生活習慣病予防に取り組む風土を醸成する。 健保が中心となって、事業主の横のつながりも作り、グループとしての健康推進体制を強化する。	全て	男女	18～74	加入者全員	0	今期スタート 準備も含め3月から実施 3、10、11～2月 ・健康保険法改正について ・ネットワーク健診について ・被扶養者への健診事後措置開始 ・健康スコアリングレポートについて ・予防接種事業に関するヒアリング	遠方の事業所もあるため、オンラインで実施。その他ヒアリングはメールを活用。 距離に関係なく参加しやすい方法を選択した点。 また事業所間のつながり強化にも帰依。	事業所により、状況が違うため、実態に即した保健事業を進めるには、ヒアリングが重要である。	5
加入者への意識づけ												
その他	2,5	ポータルサイトMyけんぽの活用	加入者に直接的に働きかけをすることにより、保健事業を身近に感じていただき、健康意識を高めていただく。 事業推進のためのプラットフォームとする。	全て	男女	18～74	加入者全員	1,695	実施時期：通年 実施内容： ・証明書のコンテンツ追加、支給決定通知書・検認での活用 ・新規取得者の登録状況をチェック、取得後3ヶ月で督促を実施。 ・未登録者・社内メールを所有していない方には勤務場所へ督促の案内メール。 ・事業所担当者より、直接未登録者へ勧奨をしてもらう	・Myけんぽでできることを増やした点 ・事業所担当者から直接登録勧奨をもらった点	・新規加入者に加入後早い段階で登録をしてもらうための効果的な手法を検討	5
個別の事業												
特定健康診査事業	3	特定健康診査（被扶養者）	加入者の健康状態を把握、生活習慣病の発症や重症化を予防し、病気の早期発見、治療につなげる。	全て	男女	40～74	被扶養者,任意継続者	1,033	実施時期：4月～10月までの間（個別健診、全国の契約医療機関で受診可） 実施内容：対象者 273名 受診者 144名	・一部事業所ではシステムを導入したことにより予約状況等をリアルタイムで確認できた。	・受診しない方は決まって受診しない。 ・一部の事業所で予約方法が変わったため	4
特定保健指導事業	4	特定保健指導	生活習慣病、重症化予防につなげるために、特定保健指導の実施率向上をはかる	全て	男女	40～74	基準該当者	1,421	実施時期：10月～順次 動機付け支援対象者：89名 実施者：44名 積極的支援対象者：84名 実施者：8名	・委託先を追加、マンネリ化を防ぐ ・ICTを使った遠隔面談で時間や場所を自由に選べる ・就業時間内に実施できるよう、また事業所の会議室を利用できるよう事業主に協力を依頼した ・未申し込み者へ、委託先と連携し、健保からの直接的なフォローを実施	・岩盤層へのアプローチ ・被扶養者へ踏み込んだ呼びかけが難しい	5

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
保健指導宣伝	5	出産者への育児冊子	出産者に対するケア	全て	女性	18～60	被保険者,被扶養者	96	実施時期：随時依頼 実績：305冊	出産後間もない方へ、タイムリーな情報を一定期間継続的に提供することで、出産者やご家族をケア。	冊子での情報提供の良さもあり、情報に限りもあるため、時代に合わせ、情報の提供方法も検討していく必要がある。	5
疾病予防	3	健康診査（人間ドック）	加入者の健康状態を把握、病気の早期発見、早期治療開始。	全て	男女	40～74	被保険者,任意継続者	33,096	実施時期：4月～12月までの間（個別健診、全国の契約医療機関で受診可） 実施内容：対象者 1,113名 受診者 1,086名	・事業主が行う定期健康診断を兼ねて実施。 ・事業主からの受診勧奨。 ・一部事業所ではシステムを導入したことにより予約状況等をリアルタイムで確認できた。 ・未予約者を事業所へ連携	・システム導入していない事業所のフォロー	5
	3	健康診査（生活習慣病健診）	加入者の健康状態を把握、病気の早期発見、早期治療開始を目標とする。	全て	男女	30～74	被扶養者	2,069	実施時期：4月～10月までの間（個別健診、全国の契約医療機関で受診可） 実施内容：対象者 246名 受診者 140名	・一部事業所ではシステムを導入したことにより予約状況等をリアルタイムで確認できた。	・受診しない方は決まって受診しない。 ・一部の事業所で予約方法が変わったため	4
	3	婦人科健診	加入者の7割が女性。自覚症状がないまま進行することが多いため、病気の早期発見、早期治療の開始。	全て	女性	30～74	被保険者,被扶養者,任意継続者	6,474	実施時期：4月～10月末までの間（個別受診、人間ドック対象者は同時受診可） 実施内容：対象者 1,364名 受診者 800名	・一部事業所では、事業主が行う定期健康診断にてオプション実施が可能であった。 ・婦人科健診に関する情報発信を行った（5本）	・告知方法や特に若年層への啓蒙活動をさらに工夫する必要がある。	5
	3,4	歯科健診	虫歯・歯周病の予防や口腔ケアの推進、早期発見、早期治療開始につなげる	全て	男女	18～74	被保険者,任意継続者	358	実施時期：4月～10月末までの間 巡回健診または個別受診 実施内容：対象者 2,124名 受診者 121名	・定期健康診断の会場内に歯科検診のスペースを設置し、利便性を図る。	・事業主の定期健診と同時実施ではない事業所は受診率が低い。受診環境を整える必要あり。 ・歯科・口腔ケアに対する理解不足。 ・新規受診者が少ない。	1
	4	前期高齢者への訪問指導	前期高齢者の生活環境や受診状況を把握することにより、健診の受診促進や適正受診につなげ、重症化を予防、医療費抑制につなげる	全て	男女	62～74	被扶養者	296	実施時期：10月～3月まで 対象者： 24名 訪問指導実施数： 6名	・訪問指導だけでなく、電話のみの指導も追加した。 ・ロコモティブシンドローム予防のための簡単ストレッチも取り入れた。 ・反応がない方へ、直接健保より状況伺い	・応じない方へのアプローチ方法を検討	5
	3	予防接種補助事業の構築	感染症予防対策としての定着	全て	男女	18～74	被保険者	0	実施時期 11～2月 実施内容 各事業所へヒアリング 基幹システムの処理、申請機能確認 来期実施の道筋を決定する	各事業所のニーズをヒアリングし、マッチした方法で道筋を決定した 一部事業所では、給与と一緒に支払う方法を実施予定	事業所によりフローが少し違うため管理が煩雑である点	5
	5	健康に関するコラム配信	ヘルスリテラシー向上を目的とする。	全て	男女	18～74	加入者全員	200	実施時期：8月～2月 毎月1回Myけんぼにて配信（計7回） 実施内容： 8月；脂肪燃焼ストレッチ 9月；生活の“リズム”は食事と睡眠でつくれる！ 10月；脂質＝太は間違いない？ 脂質の選び方 11月；脂肪燃焼効果UP！ウォーキングの質を高めよう 12月；セルフケアで体も心も健康に『メンタルヘルス』 1月；ストレス解消とパフォーマンスアップ 2月；免疫力アップで疲れ知らずのカラダを目指す！	・動画付きのコラム ・コラム掲載のお知らせをMyけんぼのメルマガ機能を利用して個人のメールアドレス宛配信 ・Myけんぼ内で繰り返し閲覧可能	・閲覧率が低い ・閲覧してもらえる工夫が必要	5
体育奨励	5	スポーツクラブ利用補助	運動習慣の定着、生活習慣の改善の機会を支援する	全て	男女	15～74	加入者全員	970	・年間契約 ・利用者は1回500円支払う（回数制限なし） ・令和4年度のべ利用者 1360名	・回数制限なし ・15歳以上の被扶養者も利用できる ・コロナ禍の自粛状況が少し緩和した	・利用者が偏る傾向 ・周知活動等を母体企業に任せている ・新型コロナウイルス感染症の影響で積極的な告知は控えた	5

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
予算措置なし	3	特定健康診査（被保険者）	加入者の健康状態を把握、生活習慣病の発症や重症化を予防し、病気の早期発見、治療につなげる。	全て	男女	40～74	被保険者	0	実施時期：4月～10月までの間（個別健診、全国の契約医療機関で受診可） 実施内容：対象者 1,074名 受診者 1,060名	・事業主が行う定期健康診断を兼ねて実施。 ・事業主からの受診勧奨。 ・一部事業所ではシステムを導入したことにより予約状況等をリアルタイムで確認できた。	・システム導入していない事業所のフォロー	5
	3,4	健康診査（定期健康診断）	加入者の健康状態を把握、病気の早期発見、早期治療開始を目標とする。	全て	男女	18～39	被保険者	0	実施時期：4～10月 実施内容：巡回・個別健診、全国の契約医療機関で受診可 対象者 1,011名 受診者 942名	・事業主が行う定期健康診断を兼ねて実施。 ・事業主からの受診勧奨。 ・一部事業所ではシステムを導入したことにより予約状況等をリアルタイムで確認できた。	・システム導入していない事業所のフォロー	4
	4	糖尿病性腎症等の重症化予防対策	要医療者への早めの介入、重症化予防を目的とする。将来的な医療費削減にも帰依する。	全て	男女	18～74	加入者全員	0	実施時期：12～3月 実施内容：基準該当者8名 未治療者2名に対し保健師より連絡 その後受診状況をレセプトにて確認 健診結果およびレセプト等情報により、糖尿病性腎症等の対象者概数を把握する（27名該当）	母体の判定基準をベースに確認した点	取り組みを始めたばかりで手探りな点 専門職と連携しながら進めていく	5
	7	後発医薬品の使用促進、差額通知	後発医薬品への正しい理解と利用促進、医療費抑制につなげる	全て	男女	18～74	加入者全員	0	実施時期：8月 配付希望者：8名 実施時期：9、12、3月 差額通知者数：93名 代替者数：12名	・Myけんぼの申請書で、簡単に申請が可能になった。	・もっと積極的な告知をしていく。	5
	4	自治体のがん検診受診勧奨	早期発見、早期治療を促す。	全て	男女	18～74	加入者全員	0	実施時期；1月 実施内容；がん検診の重要性と自治体で実施しているがん検診の案内を作成。 対象者にMyけんぼにて受診勧奨の通知をする。	個人個人へ案内を配信した点	啓もう活動をより強化	5
	5	健保メルマガ配信	ヘルスリテラシー向上を目的とする。	全て	男女	18～74	加入者全員	0	実施時期：4、5、7、2月 Myけんぼにて配信（計4回） 実施内容：朝ごはん、食べていますか？ 散歩のすすめ マスク下のストレッチ 甘い飲み物を毎日飲んでいませんか？	・手軽に読める内容 ・Myけんぼメルマガ機能を使用して個人のメールアドレス宛配信	・閲覧状況を把握できない	5
	5,6	こころとからだの健康相談	専門職による健康相談の窓口を設置	全て	男女	-～-	被保険者,任意継続者	0	・専門職専用のメールアドレスと電話で受付 ・随時実施 ・R4年度 相談実績なし	・外部委託ではなく健保所属の保健師による実施のため相談がしやすい	・周知が十分でなかった	5
	5	卒煙チャレンジサポート	専門職による相談窓口を設置、ご本人の希望に合わせ卒煙をサポートする	全て	男女	-～-	被保険者,任意継続者	0	・本人の希望に合わせたチャレンジステージを選択可能 ・随時実施 ・R5年度からスタート 相談実績なし	・外部委託ではなく健保所属の保健師による実施のため相談がしやすい ・勤務時間中に相談可能	・周知が十分でなかった	5

注1) 1．職場環境の整備 2．加入者への意識づけ 3．健康診査 4．保健指導・受診勧奨 5．健康教育 6．健康相談 7．後発医薬品の使用促進 8．その他の事業

注2) 1．39%以下 2．40%以上 3．60%以上 4．80%以上 5．100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
定期健康診断	安衛法に基づく健診	被保険者	男女	18 ～ 74	対象者数：1,933名 受診者数：1,776名（91.9%）	・勤務時間中の受診可 ・母体企業ではネットワーク健診にて実施 ・事業所内に健診会場を設置	・受診率を100%に近づけること	有
健康診断事後措置に伴う個別指導	要精密検査、要治療者の検査及び治療結果の把握、生活指導	被保険者	男女	18 ～ 74	・2次検査 対象者458名 ・2次検査 受診者 73名 定期健康診断後、有所見者も含め、保健師が直接本人に働きかけ	・事業主による受診勧奨 ・産業医、保健師によるタイムリーな情報提供 および保健指導を実施	・専門知識のある医療スタッフの不足 ・健診結果に対する、健康意識が低い人が多い	無
雇用時の健康教育	新入社員向けに健康教育をし、若いうちから意識をもって健康管理に努めてもらうため。	被保険者	男女	18 ～ 74	実施時期：4月（新入社員研修にて） 実施者：新卒27名 産業医・保健師により健康に関する自己管理意識の醸成、セルフケアの基礎知識の習得等の教育を実施	・産業医・保険師それぞれの立場から、わかりやすい内容で講義。	中途採用者や地方在住者に対する教育ができていない	無
健康経営への取り組み	健康経営宣言に基づき、従業員とその家族が心身ともに健康で、元気にすがすがしく働くことができる環境を実現する。	被保険者 被扶養者	男女	- ～ (上限なし)	「健康経営優良法人2022、2023(大規模法人部門)」認定	健康経営推進体制を構築し、連携して取り組んだ	さらに上位を目指すために、より具合的な施策を検討する必要あり	有

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		資料1_特定健診受診率	特定健診分析	-
イ		資料2_特定保健指導実施率	特定保健指導分析	-
ウ		資料3_特定保健指導実施状況	特定保健指導分析	-
エ		資料4_婦人科検診・歯科健診受診率	その他	-
オ		資料5_組合の医療費の状況	医療費・患者数分析	-
カ		資料6_組合の薬剤費の推移	医療費・患者数分析	-

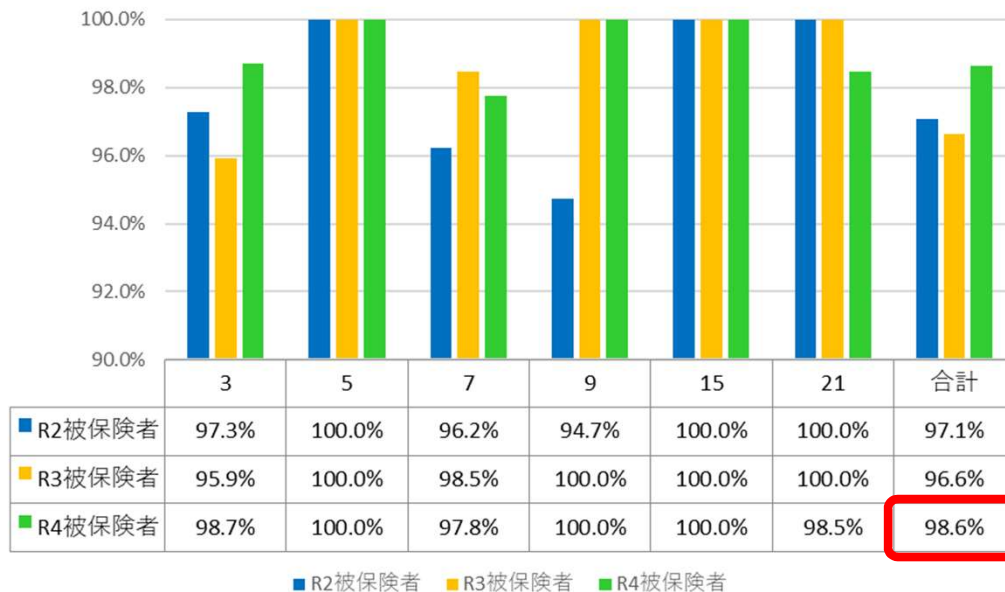
キ	生活習慣分析 (2022年度質問票の状況) ① 調査対象者、調査内容、調査期間(回答終了)：調査中(回答予定)17,150 ② 2022.10.27 集計開始(最終集計)集計期間：15,478 (集計率 90.3%) 集計対象者として集計された回答者の割合(2022.10.27現在) ③ ④ 資料7_生活習慣分析 2024年10月	資料7_生活習慣分析	健康リスク分析	-
ク	高血圧症・脂質異常症・糖尿病のリスク者の推移・将来予測 資料7_生活習慣分析 (2022年度質問票) 集計結果(2022.10.27現在) 集計率 90.3% ① 調査対象者、調査内容、調査期間(回答終了)：調査中(回答予定)17,150 ② 2022.10.27 集計開始(最終集計)集計期間：15,478 (集計率 90.3%) 集計対象者として集計された回答者の割合(2022.10.27現在) ③ ④ 資料8_三大リスク者の推移・将来予測 2024年10月	資料8_三大リスク者の推移・将来予測	健康リスク分析	-
ケ	組合の性別・年代別医療費の状況 資料7_生活習慣分析 (2022年度質問票) 集計結果(2022.10.27現在) 集計率 90.3% ① 調査対象者、調査内容、調査期間(回答終了)：調査中(回答予定)17,150 ② 2022.10.27 集計開始(最終集計)集計期間：15,478 (集計率 90.3%) 集計対象者として集計された回答者の割合(2022.10.27現在) ③ ④ 資料9_組合の性別・年代別医療費の状況 2024年10月	資料9_組合の性別・年代別医療費の状況	医療費・患者数分析	-

特定健診 受診率

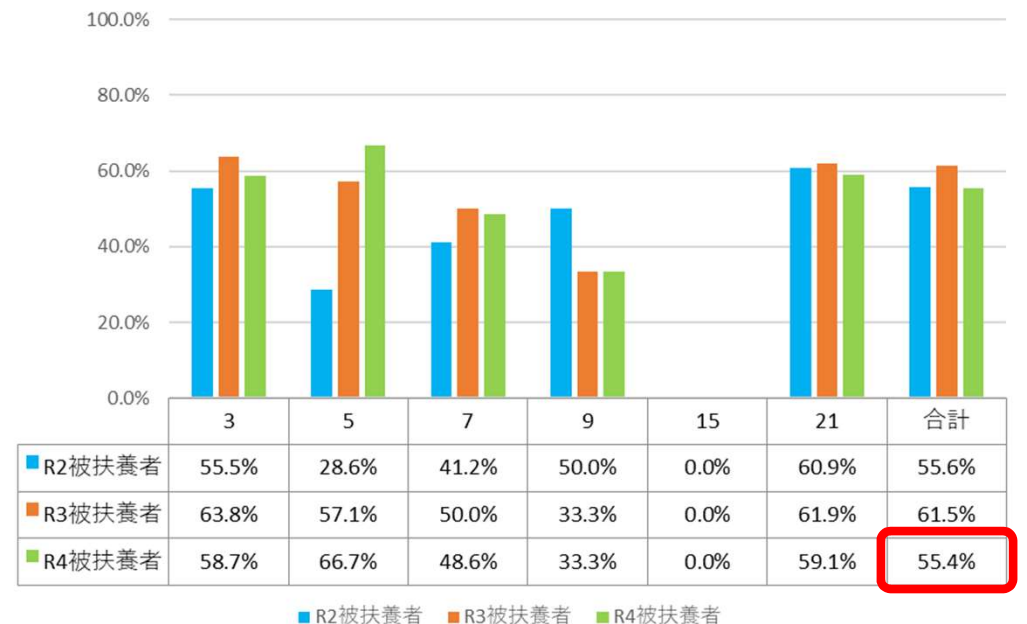
2022（R4）年度の組合全体の受診率実績； **90.7%**

受診率は上昇傾向にあるが、さらに向上させるには、被扶養者の受診率を上げていく必要がある。

事業所別 被保険者の受診率推移



事業所別 被扶養者の受診率推移

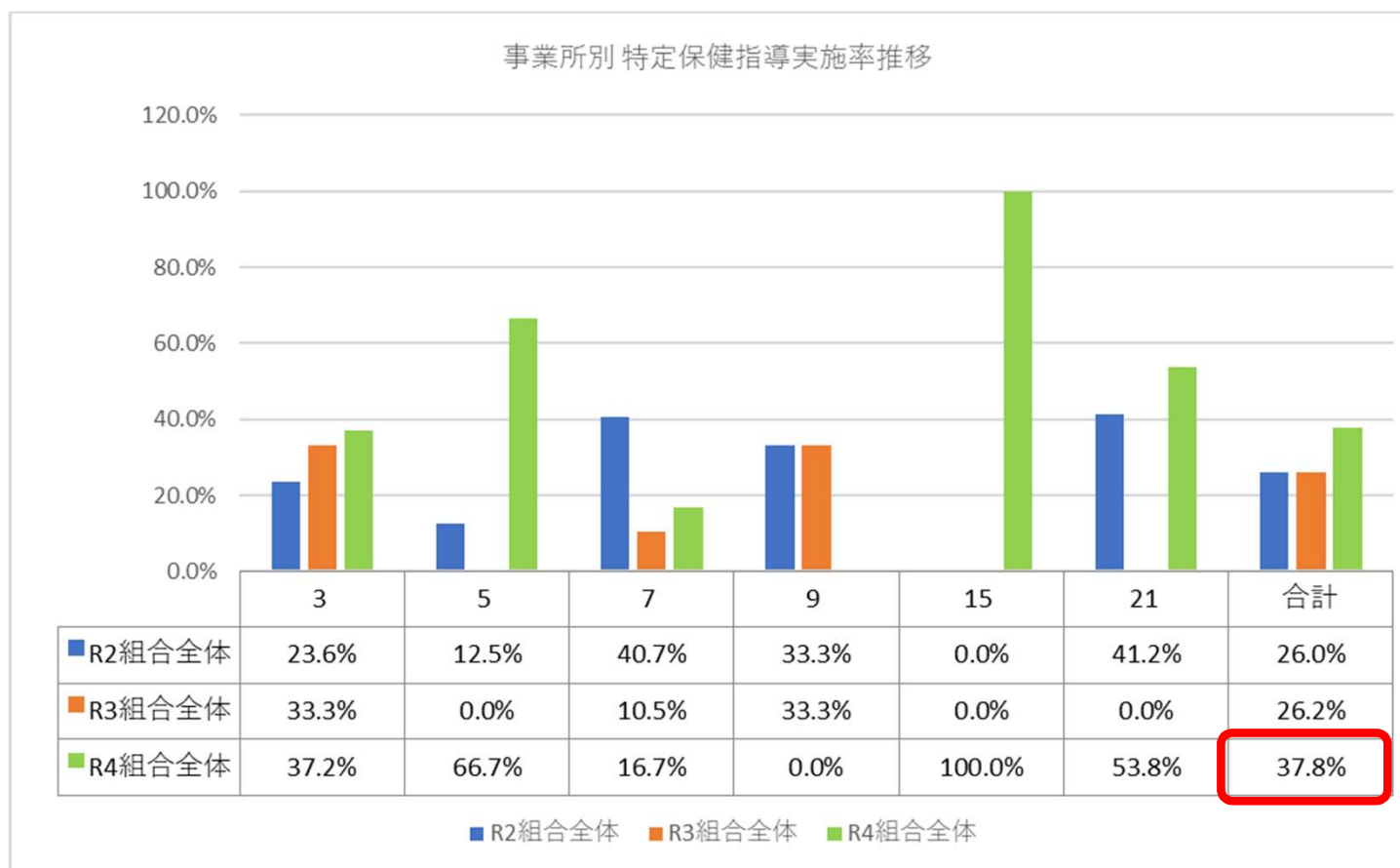


特定保健指導 実施率

2022（R4）年度の組合全体の実施率実績； **37.8%**

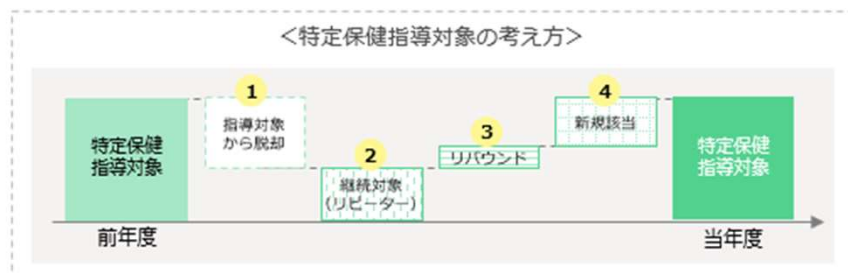
上昇傾向にあるが、単一健保平均39.7%に満たない。国の目標55%には遠く及ばず。

マンネリ化防止、岩盤層への働きかけ、結果重視のプログラムにより、実施率向上を目指す。



特定保健指導の実施状況

- ①対象者割合は減少、実施率は増加傾向 ②対象者の約70%がリピーター
③新規該当者は一定数存在する、若年層のいわゆる予備軍へのアプローチも必要



保険者共通の評価指標

アウトプット指標

アウトカム指標

【特定保健指導実施状況】

	2020年度	2021年度	2022年度
健診受診者数	1,148人	1,149人	1,146人
指導対象者数	227人	191人	180人
対象者割合	19.8%	16.6%	15.7%
実施者数	59人	48人	68人
実施率	26.0%	25.1%	37.8%
実施率 (健保平均)	27.0%	31.1%	-

【1 指導対象からの脱却状況】

	2019年→2020年	2020年→2021年	2021年→2022年
脱却者数	69人	91人	67人
改善脱却	43人	55人	37人
脱却率	62.3%	60.4%	55.2%
服薬治療	8人	20人	13人
その他	18人	16人	17人

【2 継続対象者（リピーター）の状況】

	2019年→2020年	2020年→2021年	2021年→2022年
1年で改善脱却	27人	26人	21人
継続対象者数	157人	136人	124人
2年継続	31人	36人	29人
3年継続	-	12人	22人
4年継続	-	-	10人
5年以上継続	-	-	63人

【3 リバウンド状況】

	2019年→2020年	2020年→2021年	2021年→2022年
リバウンド者数	16人	18人	24人
1年後にリバウンド	16人	14人	18人
2年後にリバウンド	-	4人	4人
3年後にリバウンド	-	-	2人

【4 指導対象への新規該当状況】

	2019年→2020年	2020年→2021年	2021年→2022年
新規該当者数	52人	31人	25人
40歳到達同時	4人	5人	2人
40歳到達済	48人	26人	23人

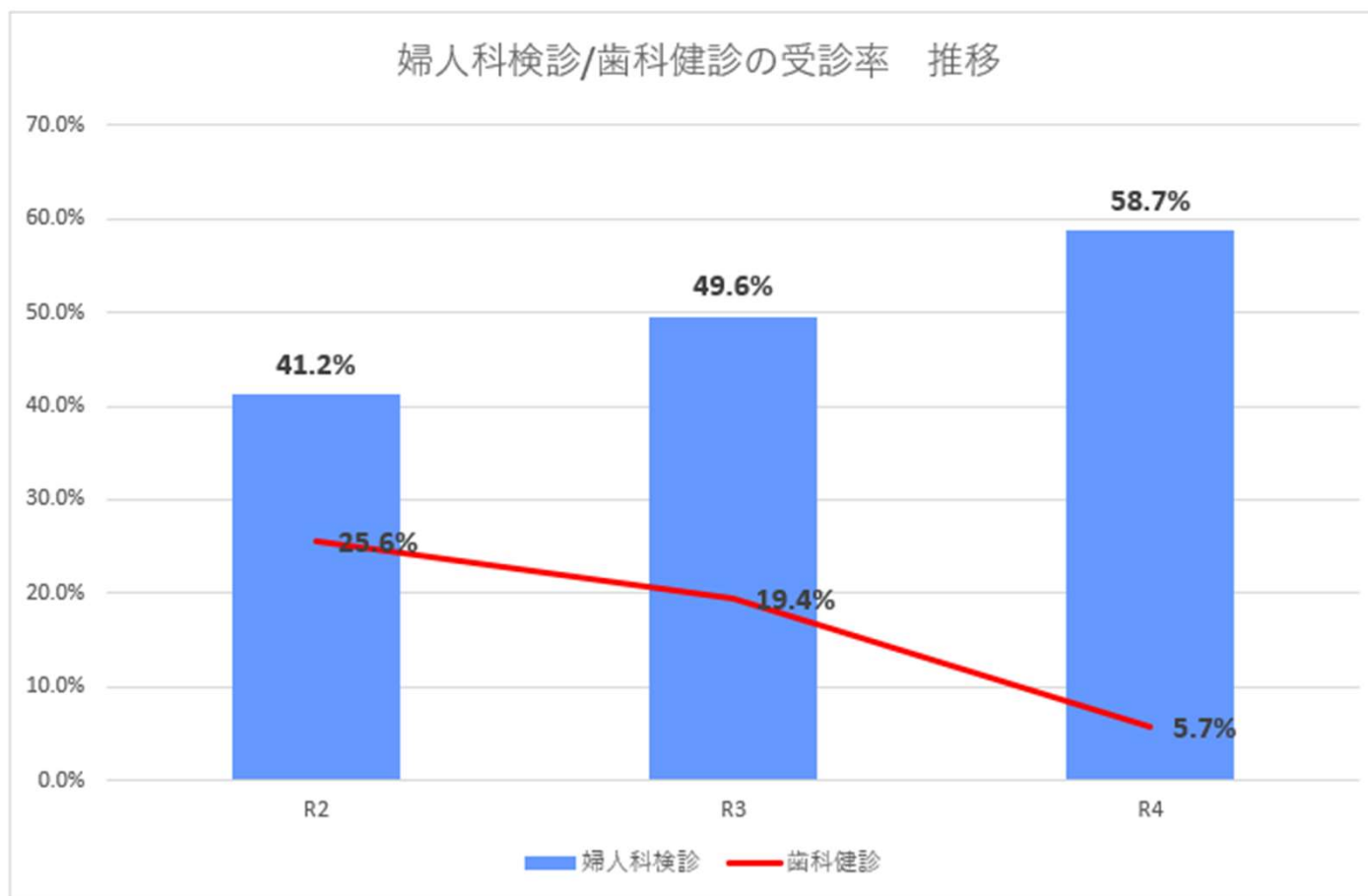
	BMI/腹囲	血圧/脂質/血糖
35-39歳における基準抵触状況	58人	63人

婦人科検診/歯科健診 受診率

2022（R4）年度の組合全体の実施率実績； 婦人科検診 **58.7%** 歯科健診 **5.7%**

婦人科検診は健康診断時にオプションとして追加できるようにしたことにより上昇傾向。

歯科健診は一部事業所の巡回歯科健診がなくなったことにより下がっている。



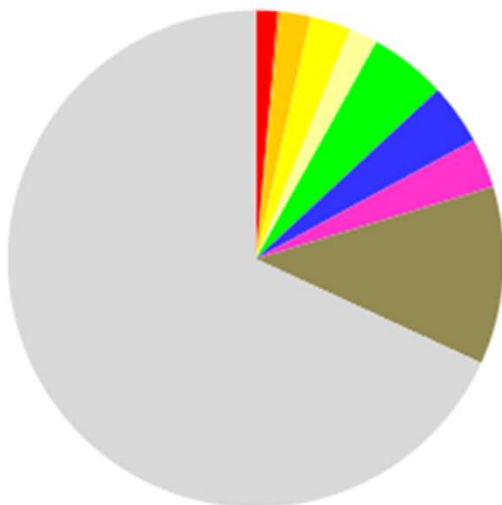
組合の医療費の状況（2022年度）

総医療費と1人あたり医療費

	組合全体
総医療費	353.9百万円
加入者1人あたり医療費	133,110円
被保険者1人あたり医療費	132,891円
被扶養者1人あたり医療費	133,856円
健保連平均1人あたり医療費	158,600円

加入者1人あたり医療費の構成割合

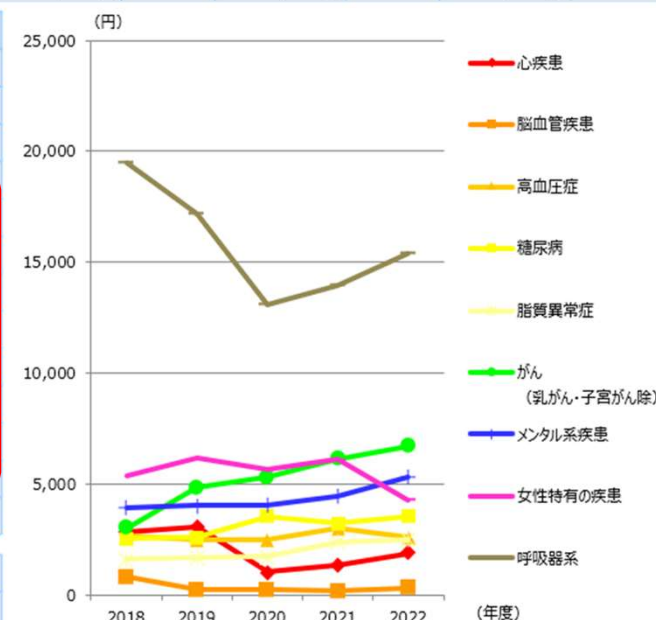
凡例	割合
心疾患	1.4%
脳血管疾患	0.2%
高血圧症	1.9%
糖尿病	2.7%
脂質異常症	1.9%
がん（乳がん・子宮がん除）	5.0%
メンタル系疾患	4.0%
女性特有の疾患	3.2%
呼吸器系	11.6%
その他	68.1%



加入者1人あたり医療費の推移

	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
総額	114,490円	100.0%	122,646円	100.0%	117,743円	100.0%	126,255円	100.0%	133,110円	100.0%
主要疾患	42,296円	36.9%	42,272円	34.5%	37,106円	31.5%	40,706円	32.2%	42,421円	31.9%

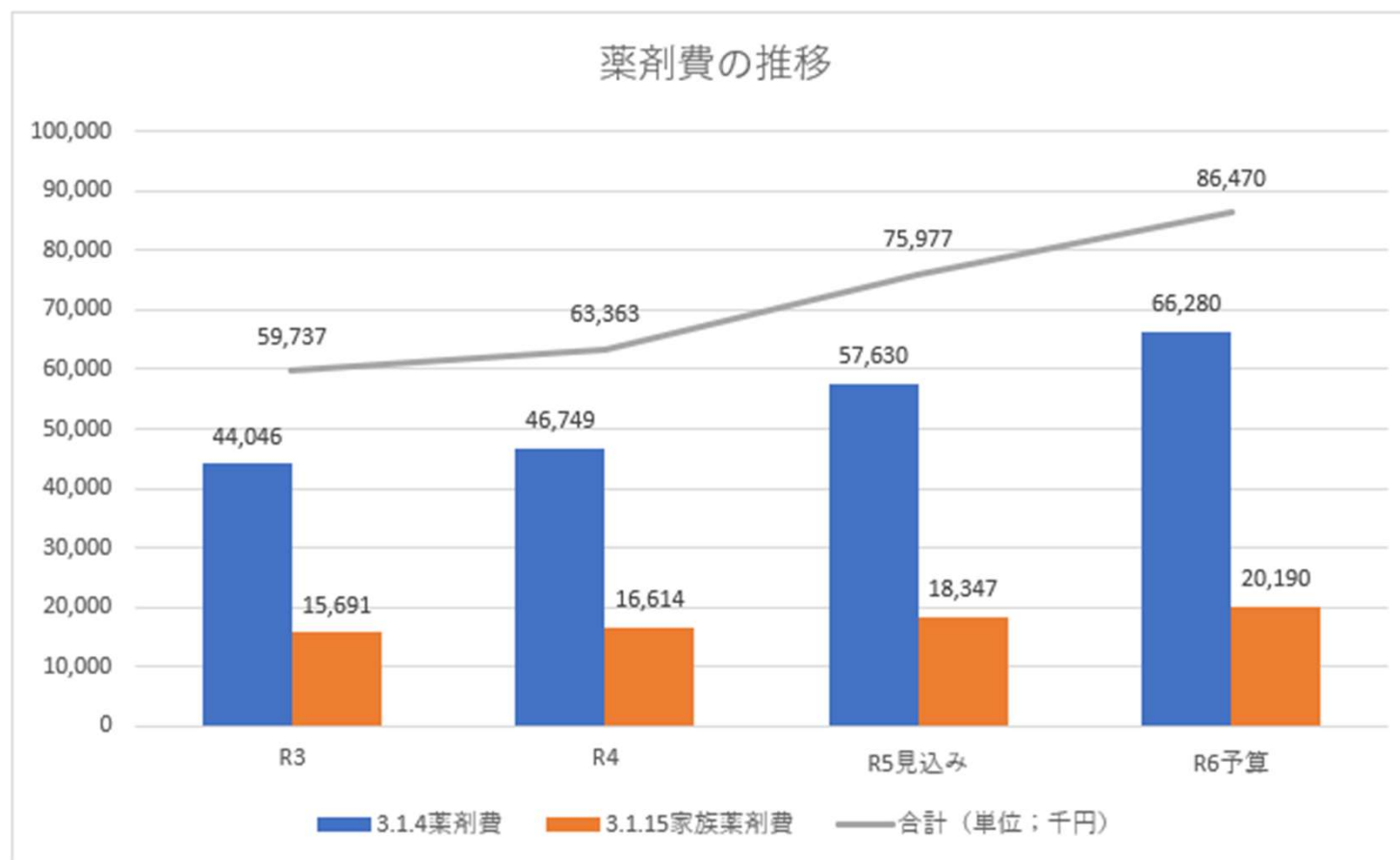
主要疾患	2022年度	5年平均伸び率
心疾患	1,873円	-9.7%
脳血管疾患	283円	-23.6%
高血圧症	2,577円	-0.7%
糖尿病	3,534円	8.4%
脂質異常症	2,492円	11.7%
胃がん	657円	9.9%
結腸・直腸がん	1,295円	66.6%
肺がん	68円	5.4%
その他がん	4,669円	18.8%
メンタル系疾患	5,279円	7.5%
妊娠・周産期	2,259円	1.0%
乳がん・子宮がん	2,027円	-10.8%
呼吸器系	15,409円	-5.7%
歯科	20,127円	4.1%
調剤	30,039円	3.6%



その他の疾患に比べ、がん、女性特有の疾患、メンタル系疾患の構成割合は高く、増加傾向にある。
また、糖尿病・脂質異常症も増加傾向である。

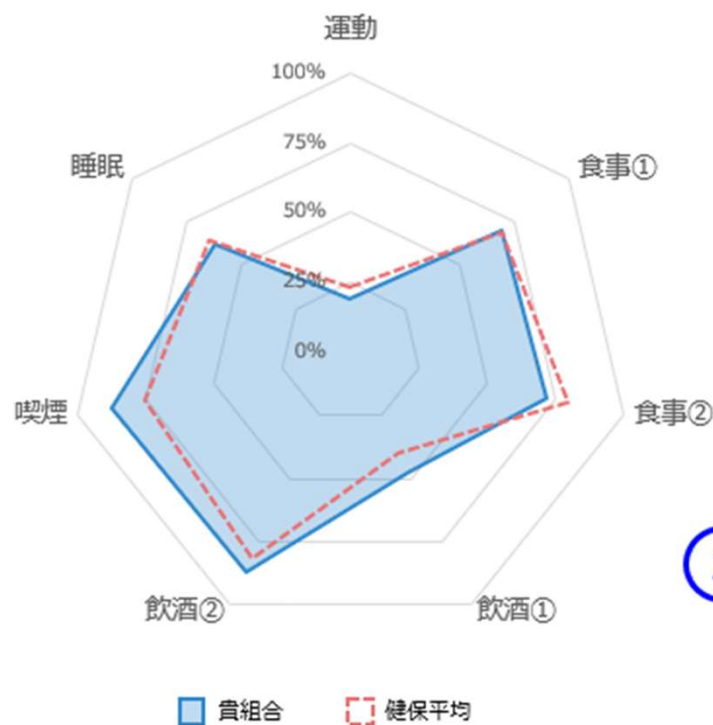
組合の薬剤費の推移

近年、薬剤費・家族薬剤費とも右肩上がりで推移している。ジェネリック医薬品の使用促進の他に、効果のある取り組みを検討する必要がある。



生活習慣分析（2022年度質問票の状況）

- ①運動習慣、朝食欠食、睡眠の質の項目で、健保平均を下回っている
- ②2021（R3）年度の組合全体の喫煙率；**16.4%**（健康スコアリングレポートより）
健康日本21で掲げられた喫煙者割合の目標12%を上回っている



※レーダーチャートの図形は大きいほど良い状態

		2020年度	2021年度	2022年度	健保平均 (2020年度)
運動	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施	18.0%	18.1%	19.4%	23.3%
食事①	就寝前2時間以内に夕食をとることが週に3回未満	68.3%	71.7%	69.5%	68.9%
食事②	朝食を抜く頻度が週に3回未満	73.2%	72.5%	72.2%	79.7%
飲酒①	飲酒をほとんどしない	43.6%	47.7%	47.3%	39.9%
飲酒②	1日あたり飲酒量が2合未満	86.0%	87.8%	86.8%	81.7%
喫煙	現時点で喫煙習慣がない	87.0%	87.3%	87.9%	75.5%
睡眠	睡眠で十分な休養がとれている	68.5%	66.3%	62.0%	64.9%

※健保平均より数値が小さい場合にハイライトしています

高血圧症・脂質異常症・糖尿病のリスク者の推移・将来予測

健診データに基づき、今後3年以内に血圧・脂質・血糖が基準値に抵触すると予想される加入者数。

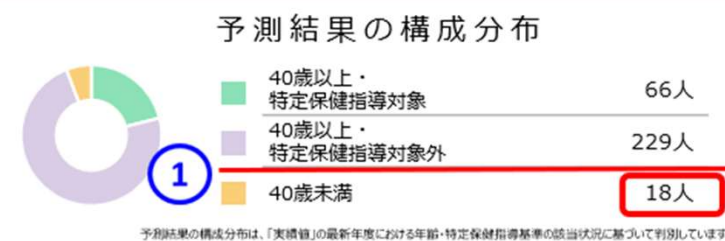
中でも脂質異常症リスク者は、他の2項目と比べ顕著に多い。

①40歳以上・特定保健指導対象外でもリスク者が一定数いる ②40歳未満においても同様

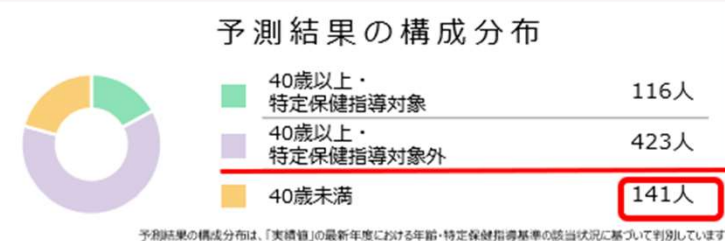
【実績値】

【予測値】

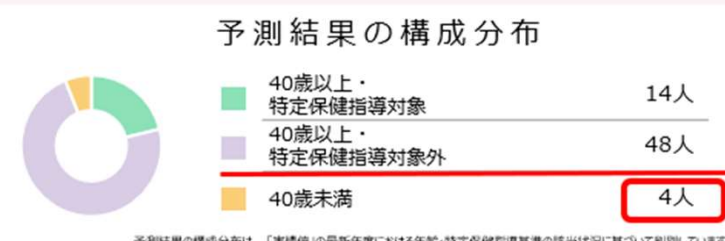
高血圧症
リスク者



脂質異常症
リスク者



糖尿病
リスク者

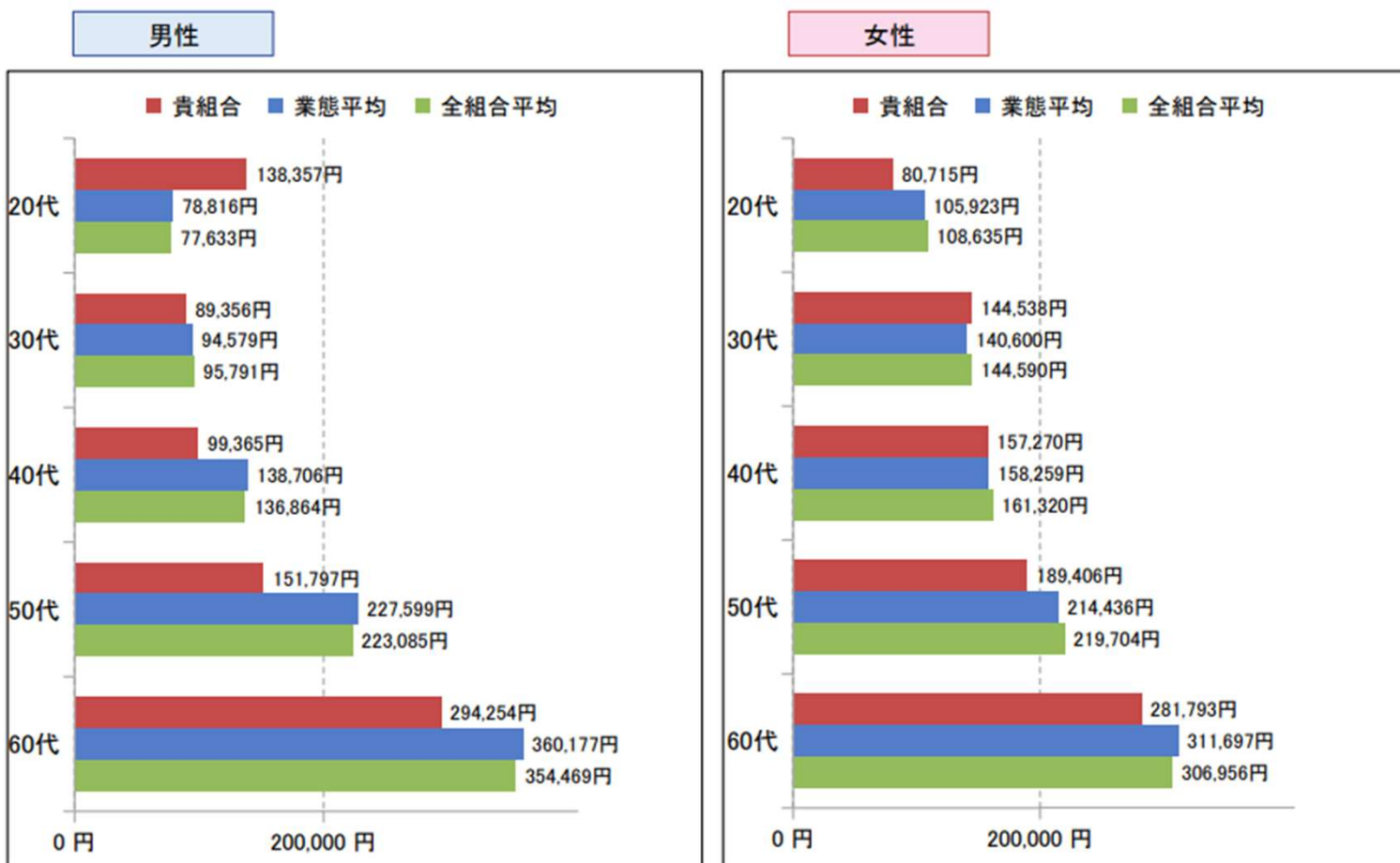


◆脳血管疾患と心疾患を含む循環器疾患の予防として、危険因子（高血圧・脂質異常症・糖尿病・喫煙）の管理があげられる

組合の性別・年代別医療費の状況

男女とも60代で1人あたり医療費が大幅に上昇する傾向がある。

【男女別・年代別1人あたり医療費の状況】



2022年度版（2021年度実績）健康スコアリングレポートより

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア, エ	・特定健診・・・被保険者の受診率は100%に値数いてきている。一方、被扶養者の受診率が上がらない、受診する方が固定化している。 ・婦人科検診・・・上昇傾向にあるが、女性の割合が多いこともあり、実施率向上の余地あり。 ・歯科健診・・・一部事業所での巡回歯科健診がなくなって以降、低迷している。	➡	・特定健診・・・被扶養者への直接的な勧奨を継続、インセンティブを取り入れ、健診の無関心層への働きかけを行う ・婦人科検診・・・事業主とも連携し、周知・啓もう活動を継続、受診機会を広げる施策を検討する。	✓
2	イ, ウ	・対象者割合は減少、実施率は増加傾向 37.8%（2022年度）であるものの単一健保平均39.7%には届かず。 ・対象者の約70%がリピーター ・新規該当者は一定数存在する、若年層のいわゆる予備軍へのアプローチも必要 ・事業所別にみると、規模や業態、事業所担当者の介入具合により、実施率に差が出ている	➡	・委託業者を見直す等のマンネリ化防止対策 ・インセンティブを使って岩盤層へ働きかけ、新規参加者増を目指す ・結果重視のプログラムを導入し、特保対象脱却率をあげる ・事業主に介入（受診勧奨）を打診・依頼、従業員に働きかけをしてもらう ・若年層への生活習慣病予防に関する情報提供を積極的に行う	
3	オ, ク	その他の疾患に比べ、がん、女性特有の疾患、メンタル系疾患の加入者1人あたり医療費の構成割合は高く、増加傾向にある。 また、糖尿病・脂質異常症も増加傾向である	➡	各種健診機会を周知し、病気の予防・早期発見・治療により、医療費を抑制する 喫煙者に対して、禁煙支援プログラムを提供 生活習慣病については、特定健診結果から、重症化予防対策を講じ、特定保健指導実施率を上げることでリスク該当者を減らしていく。 メンタル系疾患は事業主とも連携し、発症や悪化を防止する。	✓
4	カ	近年薬剤費・家族薬剤費とも右肩上がり推移。 ジェネリック医薬品の利用促進の効果があまり現れていない。（R5.3診療分81.8%）	➡	ジェネリック医薬品の利用促進の他に、効果のある取り組みを検討する必要がある	
5	キ	・運動習慣、朝食欠食、睡眠の質の項目で、健保平均を下回っている ・2021（R3）年度の組合全体の喫煙率;16.4%（健康スコアリングレポートより） 健康日本21で掲げられた喫煙者割合の目標12%を上回っている	➡	健康情報を定期的に配信 メルマガ等にて生活習慣改善の情報提供	
6	ケ	男女とも60代で1人あたり医療費が大幅に上昇する傾向がある。	➡	前期高齢者の被扶養者を対象に訪問指導を実施 健診の受診、通院・服薬の状況確認、食事や運動等の指導など、状況に合わせた健康相談を行う	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	・全適用事業所のうち、70%が母体企業に所属している ・母体企業については、店舗勤務の被保険者が全国に在籍しており、情報提供や介入が困難である	➡	加入者が全国に点在する当組合では、加入者の情報取得や本人への介入が困難である。健保のポータルサイトを活用し、情報が行きわたるよう留意する。

2	・被保険者は、男性24.3%（平均年齢48.1歳）、女性75.7%（平均年齢37.7歳）と、女性の構成比が非常に高く、平均年齢も差がある。 ・特に20歳の男性加入者は少ない ・女性は20代、30代が多い	➡	女性の比率が高いため、女性特有の疾病予防を継続して実施する。そのための周知・啓蒙活動は事業所もコラボして進める。
3	適用事業所により、規模や業態がさまざまである。	➡	事業所の状況に合わせ、事業所担当者と課題を共有しながらコラボヘルスを進める。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	・特定健診、特定保健指導の実施率がなかなか上がらない	➡	無関心層の気持ちをつかめるような働きかけを工夫する
2	・生活習慣病健診と歯科検診は受診者が固定化している傾向	➡	受診機会をより広く提供できるよう工夫する
3	・女性の割合が多いのに対し、受診率は低い。	➡	若年層に向けた働きかけを事業主と共に行う
4	・コラボヘルスに向けた取り組みが不十分	➡	各事業所により、規模や業態、風土の違いがあり、また健康推進の状況がまちまちである。各事業所ごとの状況やニーズ、課題を把握し、事業主と協力して進めていく

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的 健診やその他保健事業により、生活習慣病のリスク該当者を減らし、病気の予防・早期発見・早期治療、医療費抑制を実現することを目的とする。 また、サンリオグループの目指す健康経営による従業員と家族の幸福度向上にも貢献すること。	事業全体の目標 受診率、実施率等、定量的な数値目標をクリアしていくことと、母体サンリオだけでなくグループ全体が健康への取り組みを推進し、連携を強化していくことを目標とする。
---	--

事業の一覧	
職場環境の整備	
予算措置なし	母体企業との連携強化
予算措置なし	コラボヘルス推進のための健康経営定例会参加
予算措置なし	健康管理事業推進委員会
加入者への意識づけ	
その他	ポータルサイトMyけんぽの活用
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	出産者への育児冊子
疾病予防	健康診査（人間ドック）
疾病予防	健康診査（生活習慣病健診）
疾病予防	婦人科健診
疾病予防	歯科健診
疾病予防	卒煙サポート事業
疾病予防	前期高齢者への訪問指導/高齢加入者への情報提供
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助事業
疾病予防	健康に関するコラム・メルマガ配信
体育奨励	スポーツクラブ利用補助
予算措置なし	特定健康診査（被保険者）
予算措置なし	健康診査（定期健康診断）
予算措置なし	糖尿病性腎症等の重症化予防対策
予算措置なし	後発医薬品の使用促進、差額通知
予算措置なし	自治体のがん検診受診勧奨
予算措置なし	ころとからだの健康相談

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連	
				対象 事業所	性別	年齢						対象者	実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
職場環境の整備																				
予算措置なし	1	既存	母体企業との連携強化	母体企業	男女	18～74	加入者全員	2	ス	母体企業の安全衛生委員会に月1回参加する。	ア	母体企業の安全衛生委員会に月1回参加する。	0	0	0	0	0	0	安全衛生委員会メンバーと事業主が持つ健康課題を共有し、健保の立場でできる健康対策への協力・参加を促す。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	参加率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)												情報共有の場への参加が主な目的のため、アウトカムは設定せず。得た情報を保健事業等の推進に活かす。(アウトカムは設定されていません)							
	1	既存	コラボヘルス推進のための健康経営定例会参加	母体企業	男女	18～74	加入者全員	3	ス	母体企業の健康経営定例会に参加する	ア	母体企業の健康経営推進体制の中に情報連携機関として位置づけられている	0	0	0	0	0	0	事業主と協働することにより、健保と事業主と従業員（加入者）が一体となって健康維持・生活習慣病予防に取り組む風土を醸成する。	・特定健診・・・被保険者の受診率は100%に値数いてきている。一方、被扶養者の受診率が上がらない、受診する方が固定化している。 ・婦人科健診・・・上昇傾向にあるが、女性の割合が多いこともあり、実施率向上の余地あり。 ・歯科健診・・・一部事業所での巡回歯科健診がなくなって以降、低迷している。 ・対象者割合は減少、実施率は増加傾向 37.8%（2022年度）であるものの単一健保平均39.7%には届かず。 ・対象者の約70%がリピーター ・新規該当者は一定数存在する、若年層のいわゆる予備軍へのアプローチも必要 ・事業所別にみると、規模や業態、事業所担当者の介入具合により、実施率に差が出ている ・運動習慣、朝食欠食、睡眠の質の項目で、健保平均を下回っている ・2021（R3）年度の組合全体の喫煙率;16.4%（健康スコアリングレポートより） 健康日本21で掲げられた喫煙者割合の目標12%を上回ってい
	参加率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)												保健事業等を推進していく上での、基礎づくりという位置づけ。コラボヘルスが、個別の事業の成功のカギを握っているため、ここではアウトカムの設定はしない。(アウトカムは設定されていません)							
1	既存	健康管理事業推進委員会	全て	男女	18～74	加入者全員	3	ス	年に2回、オンラインにて開催	ア	各事業所推薦の推進委員と情報共有・意見交換の場を設ける	0	0	0	0	0	0	健保と事業主と従業員（加入者）が一体となって健康維持・生活習慣病予防に取り組む風土を醸成する。健保が中心となって、事業主の横のつながりも作り、グループとしての健康推進体制を強化する。	・特定健診・・・被保険者の受診率は100%に値数いてきている。一方、被扶養者の受診率が上がらない、受診する方が固定化している。 ・婦人科健診・・・上昇傾向にあるが、女性の割合が多いこともあり、実施率向上の余地あり。 ・歯科健診・・・一部事業所での巡回歯科健診がなくなって以降、低迷している。 ・対象者割合は減少、実施率は増加傾向 37.8%（2022年度）であるものの単一健保平均39.7%には届かず。 ・対象者の約70%がリピーター ・新規該当者は一定数存在する、若年層のいわゆる予備軍へのアプローチも必要 ・事業所別にみると、規模や業態、事業所担当者の介入具合により、実施率に差が出ている ・運動習慣、朝食欠食、睡眠の質の項目で、健保平均を下回っている ・2021（R3）年度の組合全体の喫煙率;16.4%（健康スコアリングレポートより） 健康日本21で掲げられた喫煙者割合の目標12%を上回ってい	

予 算 科 目	注1) 事業 分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連	
				対象 事業所	性別	年齢						対象者	実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
開催回数(【実績値】1回　【目標値】令和6年度：2回　令和7年度：2回　令和8年度：2回　令和9年度：2回　令和10年度：2回　令和11年度：0回)年2回開催を基本とし、その他メール等により意見交換等適宜おこなう。												保健事業等を推進していく上での、基礎づくりという位置づけ。ここではアウトカムの設定はしない。 (アウトカムは設定されていません)								

その他	2,5	既存	ポータルサイトMyけんぼの活用	全て	男女	18～74	加入者全員	1	工,ケ	シ			1,520	1,520	1,520	1,520	1,520	1,520	健康保険組合と加入者の直接的なコミュニケーションツールとして活用。直接的に働きかけをすることにより、健康保険を身近に感じていただき、健康意識を高めていただく。事業推進のためのプラットフォームとする。	・特定健診・・・被保険者の受診率は100%に値数いてきている。一方、被扶養者の受診率が上がらない、受診する方が固定化している。 ・婦人科検診・・・上昇傾向にあるが、女性の割合が多いこともあり、実施率向上の余地あり。 ・歯科健診・・・一部事業所での巡回歯科健診がなくなって以降、低迷している。						
													新たな取組み計画 時期：通年 内容： ・ Myけんぼを活用するために登録率を維持。（R6、2時点97.3%） ・ 健保発行の通知書をMyけんぼ配信に変更。 ・ 加入者からの申請もMyけんぼの機能を活用する。	新たな取組み計画 時期：通年 内容： ・ 「資格情報のお知らせ」表示をシステムベンダーに要望 ・ ID仮PW通知書を紙で発行しない方法を検討（メールアドレスがわかればできると想像） ・ 新たな活用方法の検討、システムベンダーにも打診（健康記録やアンケート等既存のものを含む）	新たな取組み計画 時期：通年 内容： ・ ID仮PW通知書を紙で発行しない方法を実行 ・ 新たな活用方法の検討、システムベンダーにも打診（健康記録やアンケート等既存のものを含む）	新たな取組み計画 時期：通年 内容： ・ 新たな活用方法の検討、システムベンダーにも打診（健康記録やアンケート等既存のものを含む）	新たな取組み計画 時期：通年 内容： ・ 新たな活用方法の検討、システムベンダーにも打診（健康記録やアンケート等既存のものを含む）	新たな取組み計画 時期：通年 内容： ・ 新たな活用方法の検討、システムベンダーにも打診（健康記録やアンケート等既存のものを含む）		新たな取組み計画 時期：通年 内容： ・ 新たな活用方法の検討、システムベンダーにも打診（健康記録やアンケート等既存のものを含む）						
													・加入時にID・仮パスワード通知書を発行、本人へ配付。 未登録者へは、事業主に登録勸奨を依頼。 ・ Myけんぼの活用を拡充、システムベンダーにも提案	・ Myけんぼを活用するために登録率を維持。（R6、2時点97.3%） ・ 健保発行の通知書をMyけんぼ配信に変更。 ・ 加入者からの申請もMyけんぼの機能を活用する。												
ID・PWの配付率(【実績値】100%　【目標値】令和6年度：100%　令和7年度：100%　令和8年度：100%　令和9年度：100%　令和10年度：100%　令和11年度：100%)加入者にID・PWを配付。新規加入者は、加入時点で配付。													登録率(【実績値】97.3%　【目標値】令和6年度：98%　令和7年度：98%　令和8年度：98%　令和9年度：98%　令和10年度：98%　令和11年度：98%)登録率の維持 R5年度　Myけんぼ通知対象者　全体の最高登録率　99.2%（2023.6時点） 取得喪失の出入りがあるため、登録率は上下する。R5年度はおよそ97%台で推移。													

個別の事業																				
特定健康診査事業	3	既存（法定）	特定健康診査（被扶養者）	全て	男女	40～74	被扶養者、任意継続者	1	ア,ウ,エ,オ,ケ	コ,シ	ネットワーク健診および施設内健診	1,220	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	加入者の健康状態を把握、生活習慣病の発症や重症化を予防し、病気の早期発見、早期治療につなげる。	・特定健診・・・被保険者の受診率は100%に値数いてきている。一方、被扶養者の受診率が上がらない、受診する方が固定化している。 ・婦人科検診・・・上昇傾向にあるが、女性の割合が多いこともあり、実施率向上の余地あり。 ・歯科健診・・・一部事業所での巡回歯科健診がなくなって以降、低迷している。	
												実施時期：4～10月（施設内健診） 実施内容： ・3月【健保HP】健診のお知らせ掲載 ・4月【メルマガ】被扶養者へ告知 ・6月【メルマガ】未予約者；被扶養者＆被保険者へ告知 ・8月【メルマガ】未予約者；被扶養者＆被保険者へ告知 ・結果受領後 保健師が、結果を確認、再検査や治療等の受診勧奨、健康相談の案内を個別に送付 ・1月受診者へインセンティブ付与 ・次年度の補助上限の見直し	実施時期：4～10月（施設内健診） 実施内容： ・3月【健保HP】健診のお知らせ掲載 ・4月【メルマガ】被扶養者へ告知 ・6月【メルマガ】未予約者；被扶養者＆被保険者へ告知 ・8月【メルマガ】未予約者；被扶養者＆被保険者へ告知 ・結果受領後 保健師が、結果を確認、再検査や治療等の受診勧奨、健康相談の案内を個別に送付 ・1月受診者へインセンティブ付与 ・補助上限の改定	実施時期：4～10月（施設内健診） 実施内容： ・3月【健保HP】健診のお知らせ掲載 ・4月【メルマガ】被扶養者へ告知 ・6月【メルマガ】未予約者；被扶養者＆被保険者へ告知 ・8月【メルマガ】未予約者；被扶養者＆被保険者へ告知 ・結果受領後 保健師が、結果を確認、再検査や治療等の受診勧奨、健康相談の案内を個別に送付 ・1月受診者へインセンティブ付与	実施時期：4～10月（施設内健診） 実施内容： ・3月【健保HP】健診のお知らせ掲載 ・4月【メルマガ】被扶養者へ告知 ・6月【メルマガ】未予約者；被扶養者＆被保険者へ告知 ・8月【メルマガ】未予約者；被扶養者＆被保険者へ告知 ・結果受領後 保健師が、結果を確認、再検査や治療等の受診勧奨、健康相談の案内を個別に送付 ・1月受診者へインセンティブ付与	実施時期：4～10月（施設内健診） 実施内容： ・3月【健保HP】健診のお知らせ掲載 ・4月【メルマガ】被扶養者へ告知 ・6月【メルマガ】未予約者；被扶養者＆被保険者へ告知 ・8月【メルマガ】未予約者；被扶養者＆被保険者へ告知 ・結果受領後 保健師が、結果を確認、再検査や治療等の受診勧奨、健康相談の案内を個別に送付 ・1月受診者へインセンティブ付与	実施時期：4～10月（施設内健診） 実施内容： ・3月【健保HP】健診のお知らせ掲載 ・4月【メルマガ】被扶養者へ告知 ・6月【メルマガ】未予約者；被扶養者＆被保険者へ告知 ・8月【メルマガ】未予約者；被扶養者＆被保険者へ告知 ・結果受領後 保健師が、結果を確認、再検査や治療等の受診勧奨、健康相談の案内を個別に送付 ・1月受診者へインセンティブ付与			
												健保からの告知回数(【実績値】4回 【目標値】令和6年度：4回 令和7年度：4回 令和8年度：4回 令和9年度：4回 令和10年度：4回 令和11年度：4回)健保HPまたはMyけんぼ等により告知する (3、4、6、8月)								
												特定健診受診率(【実績値】57.2％ 【目標値】令和6年度：59％ 令和7年度：62％ 令和8年度：64％ 令和9年度：66％ 令和10年度：68％ 令和11年度：70％)受診率の向上 (R4年度実績52.7％)								
													内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：10％ 令和7年度：9％ 令和8年度：9％ 令和9年度：8％ 令和10年度：8％ 令和11年度：8％)HW国報告別表6 R4年度10.4％							

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連													
													実施計画																				
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度															
アウトプット指標													アウトカム指標																				
特定保健指導事業	4	既存（法定）	特定保健指導	全て	男女	40～74	基準該当者	1	ア,エ,ケ,サ	実施率向上を目指し、事業主と連携。就業時間内に保健指導を実施可能とする。参加しやすいように、ICTを活用した遠隔面談にて行う。	ア,イ,コ,シ	積極的支援、動機付け支援に分けて、別々の事業者に委託。事業者と連携し、受診勧奨等すすめる	2,770	2,770	2,770	2,770	2,770	2,770	生活習慣病、重症化予防につなげるために、特定保健指導の実施率向上をはかる	・対象者割合は減少、実施率は増加傾向 37.8%（2022年度）であるものの単一健保平均39.7%には届かず。 ・対象者の約70%がリピーター ・新規該当者は一定数存在する、若年層のいわゆる予備軍へのアプローチも必要 ・事業所別にみると、規模や業態、事業所担当者の介入具合により、実施率に差が出ている													
													実施時期：10月～順次 実施内容：対象者に案内を送付。期限までに申し込みがない方には勧奨メールを送る。対象者はアプリをダウンロードし、初回面談の予約、3か月のプログラムに参加。 ※事業主からの勧奨を依頼する	実施時期：10月～順次 実施内容：対象者に案内を送付。期限までに申し込みがない方には勧奨メールを送る。対象者はアプリをダウンロードし、初回面談の予約、3か月のプログラムに参加。 ※事業主からの勧奨を依頼する	実施時期：10月～順次 実施内容：対象者に案内を送付。期限までに申し込みがない方には勧奨メールを送る。対象者はアプリをダウンロードし、初回面談の予約、3か月のプログラムに参加。 ※事業主からの勧奨を依頼する	実施時期：10月～順次 実施内容：対象者に案内を送付。期限までに申し込みがない方には勧奨メールを送る。対象者はアプリをダウンロードし、初回面談の予約、3か月のプログラムに参加。 ※事業主からの勧奨を依頼する	実施時期：10月～順次 実施内容：対象者に案内を送付。期限までに申し込みがない方には勧奨メールを送る。対象者はアプリをダウンロードし、初回面談の予約、3か月のプログラムに参加。 ※事業主からの勧奨を依頼する	実施時期：10月～順次 実施内容：対象者に案内を送付。期限までに申し込みがない方には勧奨メールを送る。対象者はアプリをダウンロードし、初回面談の予約、3か月のプログラムに参加。 ※事業主からの勧奨を依頼する															
													案内送付率(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)対象者全員に、保健指導実施の案内を作成、送付する。													特定保健指導対象者割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：15% 令和7年度：14% 令和8年度：13% 令和9年度：12% 令和10年度：11% 令和11年度：10%)HW国報告別表6 R4年度15.7%							
													特定保健指導実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：40% 令和7年度：42% 令和8年度：44% 令和9年度：46% 令和10年度：48% 令和11年度：50%) 特定保健指導実施率の向上（R4年度実績37.8%）													特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：28% 令和7年度：29% 令和8年度：30% 令和9年度：31% 令和10年度：32% 令和11年度：33%)HW国報告別表6 R4年度27.3%							
保健指導宣伝	2,5	既存	出産者への育児冊子	全て	女性	18～60	被保険者,被扶養者	1	ス	出産した被保険者・被扶養者および出生した子に係る被扶養者届の提出者に月刊誌「赤ちゃん」とを1年間配布	シ	-	156	156	156	156	156	156	出産者および家族に対するケア	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）													
													実施時期：毎月1回依頼 実施内容：毎月の出産育児一時金請求書を元に、対象者へ発送を委託業者に依頼する	実施時期：毎月1回依頼 実施内容：毎月の出産育児一時金請求書を元に、対象者へ発送を委託業者に依頼する	実施時期：毎月1回依頼 実施内容：毎月の出産育児一時金請求書を元に、対象者へ発送を委託業者に依頼する	実施時期：毎月1回依頼 実施内容：毎月の出産育児一時金請求書を元に、対象者へ発送を委託業者に依頼する	実施時期：毎月1回依頼 実施内容：毎月の出産育児一時金請求書を元に、対象者へ発送を委託業者に依頼する	実施時期：毎月1回依頼 実施内容：毎月の出産育児一時金請求書を元に、対象者へ発送を委託業者に依頼する															
発送依頼率(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)出産育児一時金請求等があった方には、必ず送付できるよう、発送依頼をする。													アンケートなどにより、感想を得ることはできるが、配付することによる効果の検証が難しいため。（H26年度実績29件、H27年度実績41件、H28年度実績32件）(アウトカムは設定されていません)																				
疾病予防	3	既存	健康診査（人間ドック）	全て	男女	40～74	被保険者,任意継続者	3	ウ,エ,オ,ケ,サ	事業主と共同実施。契約医療機関にて受診、結果データを受領し、健康管理システムへ登録。事業主と重複しない範囲での保健師による、再検査等の受診勧奨、健康相談を実施。	ア,イ,コ,シ	ネットワーク健診および施設内健診	38,746	38,750	38,750	38,750	38,750	38,750	加入者の健康状態を把握、病気の早期発見、早期治療開始。 ・特定健診・・・被保険者の受診率は100%に値数いてきている。一方、被扶養者の受診率が上がらない、受診する方が固定化している。 ・婦人科検診・・・上昇傾向にあるが、女性の割合が多いこともあり、実施率向上の余地あり。 ・歯科健診・・・一部事業所での巡回歯科健診がなくなって以降、低迷している。 その他の疾患に比べ、がん、女性特有の疾患、メンタル系疾患の加入者1人あたり医療費の構成割合は高く、増加傾向にある。 また、糖尿病・脂質異常症も増加傾向である														
													実施時期：4～10月（巡回健診含む） 実施内容：（4月）事業主と共同で定期健康診断実施の告知（9月まで）事業主および健保Myけんぼによる未受診者への受診勧奨（10月以降）結果を確認、再検査や治療等の受診勧奨（メール）	実施時期：4～10月（巡回健診含む） 実施内容：（4月）事業主と共同で定期健康診断実施の告知（9月まで）事業主および健保Myけんぼによる未受診者への受診勧奨（10月以降）結果を確認、再検査や治療等の受診勧奨（メール）	実施時期：4～10月（巡回健診含む） 実施内容：（4月）事業主と共同で定期健康診断実施の告知（9月まで）事業主および健保Myけんぼによる未受診者への受診勧奨（10月以降）結果を確認、再検査や治療等の受診勧奨（メール）	実施時期：4～10月（巡回健診含む） 実施内容：（4月）事業主と共同で定期健康診断実施の告知（9月まで）事業主および健保Myけんぼによる未受診者への受診勧奨（10月以降）結果を確認、再検査や治療等の受診勧奨（メール）	実施時期：4～10月（巡回健診含む） 実施内容：（4月）事業主と共同で定期健康診断実施の告知（9月まで）事業主および健保Myけんぼによる未受診者への受診勧奨（10月以降）結果を確認、再検査や治療等の受診勧奨（メール）	実施時期：4～10月（巡回健診含む） 実施内容：（4月）事業主と共同で定期健康診断実施の告知（9月まで）事業主および健保Myけんぼによる未受診者への受診勧奨（10月以降）結果を確認、再検査や治療等の受診勧奨（メール）															
													健保からの告知回数(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)健保HPまたはMyけんぼ等により告知する ※被保険者については、事業主からの告知をメインとする																				
													受診率(【実績値】 97.0% 【目標値】 令和6年度：98.0% 令和7年度：98.2% 令和8年度：98.4% 令和9年度：98.6% 令和10年度：98.8% 令和11年度：99.0%)受診率の向上（R4年度実績97.6%）																				
													脂質異常症のリスク高割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：17.0% 令和7年度：16.9% 令和8年度：16.8% 令和9年度：16.7% 令和10年度：16.6% 令和11年度：16.5%)リスク高割合の減少 支援レポートリスク分析（R4年度実績17.1%）																				
													糖尿病のリスク高割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1.3% 令和7年度：1.2% 令和8年度：1.1% 令和9年度：1.0% 令和10年度：0.9% 令和11年度：0.8%)リスク高割合の減少 支援レポートリスク分析（R4年度実績1.4%）																				
													2,871	2,875	2,875	2,875	2,875	2,875															

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
													実施計画												
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度							
アウトプット指標													アウトカム指標												
3	既存		健康診査（生活習慣病健診）	全て	男女	30～74	被扶養者	1	ア,ウ,エ,オ,ケ	契約医療機関にて受診、結果データを受領し、健康管理システムへ登録。上限金額まで補助。一部事業所ではネットワーク健診を導入。	コ,シ	ネットワーク健診および施設内受診	実施時期：4～10月（施設内健診） 実施内容： ・3月【健保HP】健診のお知らせ掲載 ・4月【メルマガ】被扶養者へ告知 ・6月【メルマガ】未予約者；被扶養者＆被保険者へ告知 ・8月【メルマガ】未予約者；被扶養者＆被保険者へ告知 ・結果受領後 保健師が、結果を確認、再検査や治療等の受診勧奨、健康相談の案内を個別に送付 ・1月受診者へインセンティブ付与 ・次年度の補助上限の見直し	実施時期：4～10月（施設内健診） 実施内容： ・3月【健保HP】健診のお知らせ掲載 ・4月【メルマガ】被扶養者へ告知 ・6月【メルマガ】未予約者；被扶養者＆被保険者へ告知 ・8月【メルマガ】未予約者；被扶養者＆被保険者へ告知 ・結果受領後 保健師が、結果を確認、再検査や治療等の受診勧奨、健康相談の案内を個別に送付 ・1月受診者へインセンティブ付与 ・補助上限の改定	実施時期：4～10月（施設内健診） 実施内容： ・3月【健保HP】健診のお知らせ掲載 ・4月【メルマガ】被扶養者へ告知 ・6月【メルマガ】未予約者；被扶養者＆被保険者へ告知 ・8月【メルマガ】未予約者；被扶養者＆被保険者へ告知 ・結果受領後 保健師が、結果を確認、再検査や治療等の受診勧奨、健康相談の案内を個別に送付 ・1月受診者へインセンティブ付与	実施時期：4～10月（施設内健診） 実施内容： ・3月【健保HP】健診のお知らせ掲載 ・4月【メルマガ】被扶養者へ告知 ・6月【メルマガ】未予約者；被扶養者＆被保険者へ告知 ・8月【メルマガ】未予約者；被扶養者＆被保険者へ告知 ・結果受領後 保健師が、結果を確認、再検査や治療等の受診勧奨、健康相談の案内を個別に送付 ・1月受診者へインセンティブ付与	実施時期：4～10月（施設内健診） 実施内容： ・3月【健保HP】健診のお知らせ掲載 ・4月【メルマガ】被扶養者へ告知 ・6月【メルマガ】未予約者；被扶養者＆被保険者へ告知 ・8月【メルマガ】未予約者；被扶養者＆被保険者へ告知 ・結果受領後 保健師が、結果を確認、再検査や治療等の受診勧奨、健康相談の案内を個別に送付 ・1月受診者へインセンティブ付与	実施時期：4～10月（施設内健診） 実施内容： ・3月【健保HP】健診のお知らせ掲載 ・4月【メルマガ】被扶養者へ告知 ・6月【メルマガ】未予約者；被扶養者＆被保険者へ告知 ・8月【メルマガ】未予約者；被扶養者＆被保険者へ告知 ・結果受領後 保健師が、結果を確認、再検査や治療等の受診勧奨、健康相談の案内を個別に送付 ・1月受診者へインセンティブ付与	加入者の健康状態を把握、病気の早期発見、早期治療開始を目標とする。	・特定健診・・・被保険者の受診率は100%に値数いてきている。一方、被扶養者の受診率が上がらない、受診する方が固定化している。 ・婦人科検診・・・上昇傾向にあるが、女性の割合が多いこともあり、実施率向上の余地あり。 ・歯科健診・・・一部事業所での巡回歯科健診がなくなって以降、低迷している。 その他の疾患に比べ、がん、女性特有の疾患、メンタル系疾患の加入者1人あたり医療費の構成割合は高く、増加傾向にある。また、糖尿病・脂質異常症も増加傾向である					
健保からの告知回数(【実績値】4回 【目標値】令和6年度：4回 令和7年度：4回 令和8年度：4回 令和9年度：4回 令和10年度：4回 令和11年度：4回)健保HPまたはMyけんぼ等により告知する (3、4、6、8月)													高血圧症のリスク高割合(【実績値】- 【目標値】令和6年度：6.4% 令和7年度：6.3% 令和8年度：6.2% 令和9年度：6.1% 令和10年度：6.0% 令和11年度：6.0%)リスク高割合の減少 支援レポートリスク分析 (R4年度実績6.5%)												
受診率(【実績値】58.1% 【目標値】令和6年度：60% 令和7年度：62% 令和8年度：63% 令和9年度：64% 令和10年度：65% 令和11年度：66%)受診率の向上 (R4年度実績56.9%)													脂質異常症のリスク高割合(【実績値】- 【目標値】令和6年度：17.0% 令和7年度：16.9% 令和8年度：16.8% 令和9年度：16.7% 令和10年度：16.6% 令和11年度：16.5%)リスク高割合の減少 支援レポートリスク分析 (R4年度実績17.1%)												
-													糖尿病のリスク高割合(【実績値】- 【目標値】令和6年度：1.3% 令和7年度：1.2% 令和8年度：1.1% 令和9年度：1.0% 令和10年度：0.9% 令和11年度：0.8%)リスク高割合の減少 支援レポートリスク分析 (R4年度実績1.4%)												
3,4	既存		婦人科健診	全て	女性	30～74	被保険者,被扶養者,任意継続者	1	イ,ウ,エ,ケ,サ	人間ドック・生活習慣病健診等のオプションとして、契約医療機関において受診可。オプション選択できない場合は、契約外での健診に対しても上限金額まで補助。	ア,イ,コ,シ	25歳と30歳以上の女性加入者対象	8,038	8,050	8,050	8,050	8,050	8,050	加入者の7割が女性。自覚症状がないまま進行することが多いため、病気の早期発見、早期治療の開始。	その他の疾患に比べ、がん、女性特有の疾患、メンタル系疾患の加入者1人あたり医療費の構成割合は高く、増加傾向にある。また、糖尿病・脂質異常症も増加傾向である					
健保からの告知回数(【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)婦人科検診の告知を健保HPおよびMyけんぼに掲載する また、自治体で実施している子宮頸がん等の制度についても説明、周知													受診率(【実績値】62.3% 【目標値】令和6年度：63% 令和7年度：64% 令和8年度：65% 令和9年度：66% 令和10年度：67% 令和11年度：68%)受診率の向上 (R4年度実績58.7%)												
3,4	既存		歯科健診	全て	男女	18～74	被保険者,任意継続者	1	ウ,ケ,サ	定期健康診断と併せて実施、また、最寄りの歯科での健診に対し、費用を上限金額まで補助。特定健診の間診票から対象者を抽出、受診勧奨	ア,コ	定期健康診断と併せて実施の場合、事業所に協力を依頼 受診勧奨は、Myけんぼにて配信	2,573	-	-	2,853	2,772	1,327	虫歯・歯周病の予防や口腔ケアの推進、早期発見、早期治療開始につなげる	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）					
健保からの告知回数(【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)・歯科健診実施の告知を健保HPおよびMyけんぼ等に掲載する ・歯科受診勧奨をMyけんぼにて行う													受診率(【実績値】5.9% 【目標値】令和6年度：30% 令和7年度：32% 令和8年度：34% 令和9年度：35% 令和10年度：36% 令和11年度：38%)受診率の向上 (R4年度実績5.7%)												
													1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500							

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象 事業所	性別	年齢	対象者						実施計画												
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度							
アウトプット指標													アウトカム指標												
	5	新規	卒煙サポート事業	全て	男女	18～74	被保険者	1	工,ケ	禁煙アプリを使った禁煙サポート	シ	-	実施時期：5月 実施内容： ・世界禁煙デーをフックに、参加者を募集、先着30名の方に禁煙アプリを使った6か月間のプログラムを実施 ・一部自己負担を設定	実施時期：5月 実施内容： ・世界禁煙デーをフックに、参加者を募集、先着30名の方に禁煙アプリを使った6か月間のプログラムを実施 ・一部自己負担を設定	実施時期：5月 実施内容： ・世界禁煙デーをフックに、参加者を募集、先着30名の方に禁煙アプリを使った6か月間のプログラムを実施 ・一部自己負担を設定	実施時期：5月 実施内容： ・世界禁煙デーをフックに、参加者を募集、先着30名の方に禁煙アプリを使った6か月間のプログラムを実施 ・一部自己負担を設定	実施時期：5月 実施内容： ・世界禁煙デーをフックに、参加者を募集、先着30名の方に禁煙アプリを使った6か月間のプログラムを実施 ・一部自己負担を設定	実施時期：5月 実施内容： ・世界禁煙デーをフックに、参加者を募集、先着30名の方に禁煙アプリを使った6か月間のプログラムを実施 ・一部自己負担を設定	禁煙事業により特定保健指導の対象者を減らし、また、将来の生活習慣病全体の発病リスクを低減することを目的とする 一人ではなかなかできない禁煙を支援する	・対象者割合は減少、実施率は増加傾向 37.8%（2022年度）であるものの単一健保平均39.7%には届かず。 ・対象者の約70%がリピーター ・新規該当者は一定数存在する、若年層のいわゆる予備軍へのアプローチも必要 ・事業所別にみると、規模や業態、事業所担当者の介入具合により、実施率に差が出ている ・運動習慣、朝食欠食、睡眠の質の項目で、健保平均を下回っている ・2021（R3）年度の組合全体の喫煙率;16.4%（健康スコアリングレポートより） 健康日本21で掲げられた喫煙者割合の目標12%を上回ってい					
プログラム参加者(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：30人 令和7年度：30人 令和8年度：30人 令和9年度：30人 令和10年度：30人 令和11年度：30人)-													特定保健指導対象者割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：15% 令和7年度：14% 令和8年度：13% 令和9年度：12% 令和10年度：11% 令和11年度：10%)HW国報告別表6 R4年度15.7%												
-													喫煙率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：15% 令和7年度：14% 令和8年度：13% 令和9年度：12% 令和10年度：11% 令和11年度：10%)健康スコアリングレポート R4年度15.2%												
4,5,6,7	既存	前期高齢者への訪問指導/高齢加入者への情報提供	全て	男女	62～74	被扶養者	1	ク,ケ	ウ	-	-	-	449	500	500	500	500	500	前期高齢者の生活環境や受診状況を把握することにより、健診の受診促進や適正受診につなげ、重症化を予防、医療費抑制につなげる	男女とも60代で1人あたり医療費が大幅に上昇する傾向がある。					
ご案内送付率(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)対象者全員にご案内文書が送付できるよう、リストを作成し、委託業者に依頼する。													訪問指導受入率(【実績値】 40.0% 【目標値】 令和6年度：45% 令和7年度：45% 令和8年度：45% 令和9年度：45% 令和10年度：45% 令和11年度：45%)訪問指導の初回受入率の向上（R4年度実績50.0%） 訪問指導実施数/（訪問指導実施数/辞退数）												
8	既存	インフルエンザ予防接種補助事業	全て	男女	18～74	被保険者	1	工	ア,コ	-	-	-	1,017	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	感染症予防対策としての定着	その他の疾患に比べ、がん、女性特有の疾患、メンタル系疾患の加入者1人あたり医療費の構成割合は高く、増加傾向にある。 また、糖尿病・脂質異常症も増加傾向である					
告知回数(【実績値】 2回 【目標値】 令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)-													接種率(【実績値】 13.7% 【目標値】 令和6年度：15% 令和7年度：30% 令和8年度：30% 令和9年度：30% 令和10年度：30% 令和11年度：30%)-												
													200	200	200	200	200	200							

予算 科目	注1) 事業 分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象 事業所	性別	年 齢	対象者						実施計画												
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度							
				アウトプット指標										アウトカム指標											
	2,5	既存	健康に関する コラム・メル マガ配信	全て	男女	18 ～ 74	加入者 全員	1	工	健康に関する動画付きコ ラム動画付きを年6回配信 、その他健保作成のコラ ム・メールマガジン等、M yけんぽを使って配信する	シ	-	実施時期： ・動画付きコラム8月～1 月 毎月1回（計6回） ・その他コラム・メルマ ガ 適時年8回 実施内容： 毎月Myけんぽにて配信す る	実施時期： ・動画付きコラム8月～1 月 毎月1回（計6回） ・その他コラム・メルマ ガ 適時年8回 実施内容： 毎月Myけんぽにて配信す る	実施時期： ・動画付きコラム8月～1 月 毎月1回（計6回） ・その他コラム・メルマ ガ 適時年8回 実施内容： 毎月Myけんぽにて配信す る	実施時期： ・動画付きコラム8月～1 月 毎月1回（計6回） ・その他コラム・メルマ ガ 適時年8回 実施内容： 毎月Myけんぽにて配信す る	実施時期： ・動画付きコラム8月～1 月 毎月1回（計6回） ・その他コラム・メルマ ガ 適時年8回 実施内容： 毎月Myけんぽにて配信す る	実施時期： ・動画付きコラム8月～1 月 毎月1回（計6回） ・その他コラム・メルマ ガ 適時年8回 実施内容： 毎月Myけんぽにて配信す る	ヘルスリテラシー向上を目的とする。	その他の疾患に比べ、がん、女性 特有の疾患、メンタル系疾患の加 入者1人あたり医療費の構成割合は 高く、増加傾向にある。 また、糖尿病・脂質異常症も増加 傾向である ・運動習慣、朝食欠食、睡眠の質 の項目で、健保平均を下回ってい る ・2021（R3）年度の組合全体の喫 煙率;16.4％（健康スコアリングレ ポートより） 健康日本21で掲げられた喫煙者割 合の目標12％を上回ってい ・特定健診・・・被保険者の受診 率は100％に値数いてきている。一 方、被扶養者の受診率が上がらな い、受診する方が固定化している 。 ・婦人科検診・・・上昇傾向にあ るが、女性の割合が多いこともあり 、実施率向上の余地あり。 ・歯科健診・・・一部事業所での 巡回歯科健診がなくなって以降、 低迷している。 ・対象者割合は減少、実施率は増 加傾向 37.8％（2022年度）である ものの単一健保平均39.7％には届 かず。 ・対象者の約70％がリピーター ・新規該当者は一定数存在する、 若年層のいわゆる予備軍へのアプ ローチも必要 ・事業所別にみると、規模や業態 、事業所担当者の介入具合により 、実施率に差が出ている 近年薬剤費・家族薬剤費とも右肩 上がりで推移。 ジェネリック医薬品の利用促進の 効果があまり現れていない。（R5、 3診療分81.8％） 男女とも60代で1人あたり医療費が 大幅に上昇する傾向がある。					
配信回数(【実績値】 21回 【目標値】 令和6年度：14回 令和7年度：14回 令和8年度：14回 令和9年度：14回 令和10年度：14回 令和11年度：14回)-													健康に関する情報を身近に関してもうらうためのもの、アウトカムは設定しない (アウトカムは設定されていません)												
体 育 奨 励	5	既存	スポーツクラ ブ利用補助	全て	男女	15 ～ 74	加入者 全員	3	ケ	事業主の契約のスポーツ クラブ利用に対して、利 用料を負担。	ア	-	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	運動習慣の定着、生活習慣の改善の機会を 支援する	・運動習慣、朝食欠食、睡眠の質 の項目で、健保平均を下回ってい る ・2021（R3）年度の組合全体の喫 煙率;16.4％（健康スコアリングレ ポートより） 健康日本21で掲げられた喫煙者割 合の目標12％を上回ってい ・対象者割合は減少、実施率は増 加傾向 37.8％（2022年度）である ものの単一健保平均39.7％には届 かず。 ・対象者の約70％がリピーター ・新規該当者は一定数存在する、 若年層のいわゆる予備軍へのアプ ローチも必要 ・事業所別にみると、規模や業態 、事業所担当者の介入具合により 、実施率に差が出ている				
	健保からの告知・働きかけ回数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：3回 令和7年度：3回 令和8年度：3回 令和9年度：3回 令和10年度：3回 令和11年度：3回)Myけんぽ等による周知、また新規登録者獲得のための周知を母体企業に働きかける。												年間のべ利用者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1,500人 令和7年度：1,600人 令和8年度：1,700人 令和9年度：1,800人 令和10年度：1,800人 令和11年度：1,800人)年間のべ利用者数の向上（R4年 度実績1360人）												
														0	0	0	0	0	0						

予算 科目	注1) 事業 分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連													
				対象 事業所	性別	年 齢	対象者						実施計画																				
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度															
アウトプット指標													アウトカム指標																				
予算 措置 なし	3	既 存 （ 法 定 ）	特定健康診査 （被保険者）	全て	男女	40 ～ 74	被保険 者	3	ウ,エ,オ,ケ ,サ	事業主と共同実施の人間 ドックにて実施。契約医 療機関にて受診、結果デ ータを受領し、健康管理 システムへ登録。上限金 額まで補助。一部事業所 ではネットワーク健診を 導入。	ア,イ,コ,シ	ネットワーク健診および 施設内健診	実施時期：4～10月（施設 内健診） 実施内容： ・3月 【健保HP】 健診 のお知らせ掲載 ※事業主におい ても告知 ・事業主による未受診者 への受診勧奨 健保は未予約者のリス トを提供 ・結果受領後 保健師が 、結果を確認、再検査や 治療等の受診勧奨、健康 相談の案内を個別に送付 （事業主との役割分担）	実施時期：4～10月（施設 内健診） 実施内容： ・3月 【健保HP】 健診 のお知らせ掲載 ※事業主におい ても告知 ・事業主による未受診者 への受診勧奨 健保は未予約者のリス トを提供 ・結果受領後 保健師が 、結果を確認、再検査や 治療等の受診勧奨、健康 相談の案内を個別に送付 （事業主との役割分担）	実施時期：4～10月（施設 内健診） 実施内容： ・3月 【健保HP】 健診 のお知らせ掲載 ※事業主におい ても告知 ・事業主による未受診者 への受診勧奨 健保は未予約者のリス トを提供 ・結果受領後 保健師が 、結果を確認、再検査や 治療等の受診勧奨、健康 相談の案内を個別に送付 （事業主との役割分担）	実施時期：4～10月（施設 内健診） 実施内容： ・3月 【健保HP】 健診 のお知らせ掲載 ※事業主におい ても告知 ・事業主による未受診者 への受診勧奨 健保は未予約者のリス トを提供 ・結果受領後 保健師が 、結果を確認、再検査や 治療等の受診勧奨、健康 相談の案内を個別に送付 （事業主との役割分担）	実施時期：4～10月（施設 内健診） 実施内容： ・3月 【健保HP】 健診 のお知らせ掲載 ※事業主におい ても告知 ・事業主による未受診者 への受診勧奨 健保は未予約者のリス トを提供 ・結果受領後 保健師が 、結果を確認、再検査や 治療等の受診勧奨、健康 相談の案内を個別に送付 （事業主との役割分担）	実施時期：4～10月（施設 内健診） 実施内容： ・3月 【健保HP】 健診 のお知らせ掲載 ※事業主におい ても告知 ・事業主による未受診者 への受診勧奨 健保は未予約者のリス トを提供 ・結果受領後 保健師が 、結果を確認、再検査や 治療等の受診勧奨、健康 相談の案内を個別に送付 （事業主との役割分担）	加入者の健康状態を把握、生活習慣病の発 症や重症化を予防し、病気の早期発見、早 期治療につなげる。	・特定健診・・・被保険者の受診 率は100%に値数いてきている。一 方、被扶養者の受診率が上がらな い、受診する方が固定化している 。 ・婦人科検診・・・上昇傾向にあ るが、女性の割合が多いこともあ り、実施率向上の余地あり。 ・歯科健診・・・一部事業所での 巡回歯科健診がなくなって以降、 低迷している。													
													健保からの告知回数(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)健保H PまたはMyけんぼ等により告知する ※被保険者については、事業主からの告知をメインとする													内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：10％ 令和7年度：9％ 令和8年度：9％ 令和9年度：8％ 令和10年度：8％ 令和11年度：8％)HW国報告別表6 R4年度10.4％							
													特定健診受診率(【実績値】 97.8％ 【目標値】 令和6年度：98％ 令和7年度：98.5％ 令和8年度：99％ 令和9年度：99.5％ 令和10年度：100％ 令和11年度 ：100%)受診率をより100%に近づける																				
													3		既 存	健康診査（定 期健康診断）	全て	男女	18 ～ 39	被保険 者	3	ウ,エ,ケ,サ	事業主と共同実施。契約 医療機関にて受診、結果 データを受領し、健康管 理システムへ登録。事業 主と重複しない範囲での 保健師による、再検査等 の受診勧奨、健康相談を 実施。	ア,イ,コ,シ	ネットワーク健診および 巡回健診	0	0	0	0	0	0	加入者の健康状態を把握、病気の早期発見 、早期治療開始を目標とする。	・特定健診・・・被保険者の受診 率は100%に値数いてきている。一 方、被扶養者の受診率が上がらな い、受診する方が固定化している 。 ・婦人科検診・・・上昇傾向にあ るが、女性の割合が多いこともあ り、実施率向上の余地あり。 ・歯科健診・・・一部事業所での 巡回歯科健診がなくなって以降、 低迷している。
																										実施時期：4～10月（巡回 健診含む） 実施内容： （4月）事業主と共同で定 期健康診断実施の告知 （9月まで）事業主および 健保Myけんぼによる未受 診者への受診勧奨 （10月以降）結果を確認 、再検査や治療等の受診 勧奨（メール）	実施時期：4～10月（巡回 健診含む） 実施内容： （4月）事業主と共同で定 期健康診断実施の告知 （9月まで）事業主および 健保Myけんぼによる未受 診者への受診勧奨 （10月以降）結果を確認 、再検査や治療等の受診 勧奨（メール）	実施時期：4～10月（巡回 健診含む） 実施内容： （4月）事業主と共同で定 期健康診断実施の告知 （9月まで）事業主および 健保Myけんぼによる未受 診者への受診勧奨 （10月以降）結果を確認 、再検査や治療等の受診 勧奨（メール）	実施時期：4～10月（巡回 健診含む） 実施内容： （4月）事業主と共同で定 期健康診断実施の告知 （9月まで）事業主および 健保Myけんぼによる未受 診者への受診勧奨 （10月以降）結果を確認 、再検査や治療等の受診 勧奨（メール）	実施時期：4～10月（巡回 健診含む） 実施内容： （4月）事業主と共同で定 期健康診断実施の告知 （9月まで）事業主および 健保Myけんぼによる未受 診者への受診勧奨 （10月以降）結果を確認 、再検査や治療等の受診 勧奨（メール）	実施時期：4～10月（巡回 健診含む） 実施内容： （4月）事業主と共同で定 期健康診断実施の告知 （9月まで）事業主および 健保Myけんぼによる未受 診者への受診勧奨 （10月以降）結果を確認 、再検査や治療等の受診 勧奨（メール）	その他の疾患に比べ、がん、女性 特有の疾患、メンタル系疾患の加 入者1人あたり医療費の構成割合は 高く、増加傾向にある。 また、糖尿病・脂質異常症も増加 傾向である	
健保からの告知回数(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)健保H PまたはMyけんぼ等により告知する ※被保険者については、事業主からの告知をメインとする													高血圧症のリスク高割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：6.4％ 令和7年度：6.3％ 令和8年度：6.2％ 令和9年度：6.1％ 令和10年度：6.0％ 令和11年度：6.0%)リスク高割合の減少 支援レポートリスク分析（R4年度実績6.5％）																				
受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：94％ 令和7年度：95％ 令和8年度：96％ 令和9年度：97％ 令和10年度：98％ 令和11年度：99%)事業主との運 携により受診率を向上させる。 （R4年度実績93.2％）													脂質異常症のリスク高割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：17.0％ 令和7年度：16.9％ 令和8年度：16.8％ 令和9年度：16.7％ 令和10年度：16.6％ 令和11年度：16.5%)リスク高割合の減少 支援レポートリスク分析（R4年度実績17.1％）																				
-													糖尿病のリスク高割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1.3％ 令和7年度：1.2％ 令和8年度：1.1％ 令和9年度：1.0％ 令和10年度：0.9％ 令和11年度：0.8%)リスク高割合の減少 支援レポートリスク分析（R4年度実績1.4％）																				
4		既 存	糖尿病性腎症 等の重症化予 防対策	全て	男女	18 ～ 74	加入者 全員	1	イ	・母体企業の基準を準用 健診結果 健診判定区分 「B」該当者で、治療中を 除く 受診勧奨を行い、一定期 間後レセプトにて受診確 認をする ・健診結果（血糖・尿蛋 白）およびレセプト等情 報により、糖尿病性腎症 等の対象者概数を把握す る	ア	将来的には、重症化予防 対策の委託も検討	0	0	1,000	1,000	1,000	1,000	要医療者への早めの介入、重症化予防を目 的とする。将来的な医療費削減にも帰依す る。	その他の疾患に比べ、がん、女性 特有の疾患、メンタル系疾患の加 入者1人あたり医療費の構成割合は 高く、増加傾向にある。 また、糖尿病・脂質異常症も増加 傾向である 男女とも60代で1人あたり医療費が 大幅に上昇する傾向がある。													
													実施時期：通年 実施内容： ・健診判定区分「B」の受 診勧奨を行う 一定期間後レセプトに て受診を確認する ・健診結果（血糖・尿蛋 白）およびレセプト等情 報により、糖尿病性腎症 等の対象者概数を把握す る ※R8年度に向け委託内容 ・委託先検討	実施時期：通年 実施内容： ・健診判定区分「B」の受 診勧奨を行う 一定期間後レセプトに て受診を確認する ・健診結果（血糖・尿蛋 白）およびレセプト等情 報により、糖尿病性腎症 等の対象者概数を把握す る ※R8年度に向け委託内容 ・委託先検討	委託による実施 実施時期：通年 実施内容： ・健診判定区分「B」の受 診勧奨を行う 一定期間後レセプトに て受診を確認する ・健診結果（血糖・尿蛋 白）およびレセプト等情 報により、糖尿病性腎症 等の対象者概数を把握す る	委託による実施 実施時期：通年 実施内容： ・健診判定区分「B」の受 診勧奨を行う 一定期間後レセプトに て受診を確認する ・健診結果（血糖・尿蛋 白）およびレセプト等情 報により、糖尿病性腎症 等の対象者概数を把握す る	委託による実施 実施時期：通年 実施内容： ・健診判定区分「B」の受 診勧奨を行う 一定期間後レセプトに て受診を確認する ・健診結果（血糖・尿蛋 白）およびレセプト等情 報により、糖尿病性腎症 等の対象者概数を把握す る	委託による実施 実施時期：通年 実施内容： ・健診判定区分「B」の受 診勧奨を行う 一定期間後レセプトに て受診を確認する ・健診結果（血糖・尿蛋 白）およびレセプト等情 報により、糖尿病性腎症 等の対象者概数を把握す る															
													受診勧奨対象者の医療機関受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：60％ 令和7年度：60％ 令和8年度：60％ 令和9年度：60％ 令和10年度：60％ 令和11年度：60％)-								高血圧症リスク対象者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：280人 令和7年度：275人 令和8年度：270人 令和9年度：265人 令和10年度：260人 令和11年度：255人)リスク対象者数の減少 支援レポートリスク者の推移・将来予測（R4年度実績287人）												
													-								脂質異常症リスク対象者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：580人 令和7年度：575人 令和8年度：570人 令和9年度：565人 令和10年度：560人 令和11年度：555人)リスク対象者数の減少 支援レポートリスク者の推移・将来予測（R4年度実績586人）												
													-								糖尿病リスク対象者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：55人 令和7年度：53人 令和8年度：50人 令和9年度：47人 令和10年度：45人 令和11年度：43人)リスク対象者数の減少 支援レポートリスク者の推移・将来予測（R4年度実績60人）												
													0	0	1,500	1,500	1,500	1,500															

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連				
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画										
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度			
アウトプット指標												アウトカム指標											
	5,7	既存	後発医薬品の使用促進、差額通知	全て	男女	18～74	加入者全員	1	工,キ	・希望者へジェネリック利用シールの配付 ・後発医薬品を使用した場合に、一定額以上の差額がある方に対し、Myけんぼにて通知し、切り替えを促す。	シ	-	実施時期：6、9、12、3月（ジェネリック利用シールの配付お知らせは8月） 実施内容：後発医薬品に切り替えた場合1000円以上差額がある方に、Myけんぼにて通知する。 既存の計画の他に効果の高い事業を検討する。	実施時期：6、9、12、3月（ジェネリック利用シールの配付お知らせは8月） 実施内容：後発医薬品に切り替えた場合1000円以上差額がある方に、Myけんぼにて通知する。 R8年度に向け、具体的な計画を立案（OTCスイッチを活用した事業等）	実施時期：6、9、12、3月（ジェネリック利用シールの配付お知らせは8月） 実施内容：後発医薬品に切り替えた場合1000円以上差額がある方に、Myけんぼにて通知する。 新たなアプローチを追加して、計画を立てる	実施時期：6、9、12、3月（ジェネリック利用シールの配付お知らせは8月） 実施内容：後発医薬品に切り替えた場合1000円以上差額がある方に、Myけんぼにて通知する。 新たなアプローチを追加して、計画を立てる	実施時期：6、9、12、3月（ジェネリック利用シールの配付お知らせは8月） 実施内容：後発医薬品に切り替えた場合1000円以上差額がある方に、Myけんぼにて通知する。 新たなアプローチを追加して、計画を立てる	実施時期：6、9、12、3月（ジェネリック利用シールの配付お知らせは8月） 実施内容：後発医薬品に切り替えた場合1000円以上差額がある方に、Myけんぼにて通知する。 新たなアプローチを追加して、計画を立てる	後発医薬品への正しい理解と利用促進、医療費抑制につなげる	近年薬剤費・家族薬剤費とも右肩上がりで推移。 ジェネリック医薬品の利用促進の効果があまり現れていない。（R5.3診療分81.8%）			
健保からの告知回数(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)後発医薬品の利用促進に関する告知をイントラに掲載する(8月)												後発薬品利用率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：82.0% 令和7年度：83.0% 令和8年度：84.0% 令和9年度：85.0% 令和10年度：86.0% 令和11年度：87.0%)R5.3診療分の利用率81.8%											
差額通知発送回数/年(【実績値】4回 【目標値】令和6年度：4回 令和7年度：4回 令和8年度：4回 令和9年度：4回 令和10年度：4回 令和11年度：4回)差額通知を年4回発送する																							
2,3,4,5	既存	自治体のがん検診受診勧奨	全て	男女	18～74	基準該当者	1	ウ,ク	子宮頸がん検診等自治体で実施しているがん検診について、Myけんぼを使用して配信する	シ	-	0	0	0	0	0	0	0	0	早期発見、早期治療を促す。	その他の疾患に比べ、がん、女性特有の疾患、メンタル系疾患の加入者1人あたり医療費の構成割合は高く、増加傾向にある。 また、糖尿病・脂質異常症も増加傾向である 男女とも60代で1人あたり医療費が大幅に上昇する傾向がある。		
受診勧奨回数(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)-												効果測定が難しいため(アウトカムは設定されていません)											
5,6	既存	ところからの健康相談	全て	男女	18～74	被保険者	1	ス	-	シ	-	0	0	0	0	0	0	0	0	健康にまつわる心配事を気軽に相談できる窓口として設置	その他の疾患に比べ、がん、女性特有の疾患、メンタル系疾患の加入者1人あたり医療費の構成割合は高く、増加傾向にある。 また、糖尿病・脂質異常症も増加傾向である		
健保からの告知回数(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												定量的な評価ができるものではないため。また相談件数も多いわけではないため指標の設定は難しい。(アウトカムは設定されていません)											

注1) 1．職場環境の整備 2．加入者への意識づけ 3．健康診査 4．保健指導・受診勧奨 5．健康教育 6．健康相談 7．後発医薬品の使用促進 8．その他の事業

注2) 1．健保組合 2．事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3．健保組合と事業主との共同事業

注3) ア．加入者等へのインセンティブを付与 イ．受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ．受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ．ICTの活用 オ．専門職による健診結果の説明 カ．他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ．定量的な効果検証の実施
ク．対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ．参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ．健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ．就業時間内も実施可（事業主と合意） シ．保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス．その他

注4) ア．事業主との連携体制の構築 イ．産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ．外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ．他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ．自治体との連携体制の構築 カ．医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ．保険者協議会との連携体制の構築 ク．その他の団体との連携体制の構築
ケ．保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む） コ．運営マニュアルの整備（業務フローの整理） サ．人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） シ．その他